

平成20年度研究業績一覧

平成20年(2008年)4月1日～平成21年(2009年)3月31日

人間・心理学系

福島大学地域創造 第20巻第1号

2008.9

五十嵐 敦

【著 書】 キャリア教育概説 共著 東洋館出版社

【論 文】 中学生を子どもにもつ父親・母親に関する縦断的研究 二宮克美・山本ちかほか 愛知学院大学総合政策研究 11・2 2009.3

【学会発表】 Psychological characteristics of Japanese young workers who experienced early retirement 24ICP (International congress of Psychology) 図Berlin, Germany 2008.7

大学生のキャリア発達に関する縦断的研究—入学時とその1年後の職業・進路意識の比較から— 日本心理学会第72回大会 図北海道大学 2008.8

中学生の社会的行動についての研究 (58) —将来展望の変化と学業成績との関連について— 日本教育心理学会第50回総会 図東京学芸大学 2008.10

働く人々のメンタルヘルスに関わる要因について (4) 第16回産業ストレス学会 図東京大学 2008.12

小野原雅夫

【著 書】 『グローバル・エシックスを考える 「九・一一」後の世界と倫理』 共著 梓出版社 2008.10

【論 文】 「非暴力の世紀へ—理想と現実の狭間で—」 単著 福島大学人間発達文化学類論集 7号 2008.6

【訳書・翻訳】 シセラ・ボク『共通価値—文明の衝突を超えて—』 監訳、宮川弘美訳 法政大学出版局 2008.9

【学会発表】 「規定的判断力の自由・改」 カント研究会第227回例会 図法政大学 2008.11

角間 陽子

【著 書】 家庭科教育における意思決定能力 共著 (第5章執筆) 家政教育社

【論 文】 家庭科教育における世代間交流とエイジング学習に関する研究 単著 東北家庭科教育研究 第7号 2008.6

【調査報告】 中年・高齢者の学校における世代間交流—スウェーデンの場合— 草野篤子

【学会発表】 デイサービスセンターにおける世代間交流の質—幼老統合ケアの質的検討から— 共同発表 日本家政学会第60回大会 図日本女子大学 (東京) 2008.6

高齢者の学校における世代間交流—スウェーデンの場合— 共同発表 日本家政学会第60回大会 図日本女子大学 (東京) 2008.6

子どもと高齢者の世代間交流における実態と課題—「高齢者の保育補助事業」を中心に— 共同発表 日本家政学会第60回大会 図日本女子大学 (東京) 2008.6

中学校家庭科におけるエイジング学習—学習形態別の実践からみた効果の検討— 単独発表 日本家庭科教育学会2008年度例会 図聖心女子大学 (東京) 2008.11

木暮 照正

【著 書】 Visual field asymmetry in spatial relation judgments: Reference frame effect. (In K.Yoshizaki & H.Ohnishi (Eds.) Contemporary issues of brain, communication and education in psychology: The science of mind. (pp.59-84.)) 単著 (章の分担執筆) ユニオンプレス

【学会発表】 あのできごとは小学校卒業から「何年後」に起きたのか? 日本認知心理学会 (第6回大会) 図千葉大学 2008.5

生島 浩

【著 書】 学校臨床の現場から 単著 SEEDS出版
新・社会福祉士養成講座 更生保護制度 共著 中央法規出版

【論 文】 新しい思春期像を示す非行少年の精神療法 単著 精神療法 34巻・2号 2008.4

非行少年の家族支援に関する実証的研究 中村志寿佳 福島大学心理臨床研究 3号 2008.7

私の家族療法理論—非行臨床家の立場から— 単著 家族療法研究 25巻・2号 2008.8

「障害」を抱えた犯罪歴のある者への地

- 域生活支援 単著 月刊福祉 92巻
・2号 2009.2
- 「モンスター」の本態を見極める 単
著 現代のエスプリ 500号 2009.3
- 保護観察官に期待されるもの 単著
更生保護と犯罪予防 151号 2009.3
- 【調査報告】** 平成19年度福島大学総合教育研究セン
ター附属臨床心理・教育相談室活動報告
中野明德・青木真理・水野薫・渡辺隆
福島大学心理臨床研究 3号 2008.7
- 総合教育研究センター「教育実践研修講
座」2007年度活動報告 中野明德・青
木真理・水野薫・渡辺隆・鈴木庸裕・昼
田源四郎 福島大学総合教育研究セン
ター紀要 5号 2008.7
- 【学会発表】** Psychosocial Support for the Juvenile
Delinquent in Japan 単著 18th
World Congress of the International As-
sociation for Child and Adolescent Psy-
chiatry and Allied Professions 関イスタ
ンブル・トルコ 2008.5
- 【書 評】** 神谷信行著：事実の治癒力，少年事件と
家族の再生 単著 家族療法研究
25巻3号 2008.12
- 白石 昌子**
- 【著 書】** 青井みかんと一緒に考える幼児の音楽表
現 共著 大学図書出版
- 鈴木 庸裕**
- 【著 書】** スクールソーシャルワーカー養成テキス
ト 共著 中央法規 2008.10
- 【論 文】** 教師のための学校ソーシャルワーク実践
論 単著 『福島大学総合教育研究
センター紀要』第4号 2008.11
- 学校ソーシャルワーク専門職の養成をめ
ぐる実習カリキュラムの一考察 単著
『学校ソーシャルワーク研究』第3号、
日本学校ソーシャルワーク学会編
2008.12
- スクールソーシャルワーカーの業務と学
校支援(1) 単著 『福島大学総
合教育研究センター紀要』第5号
2009.1
- 住吉 チカ**
- 【論 文】** 「Essential polyunsaturated fatty acids and
social cognition in schizophrenia」
Sumiyoshi T., Matsui M., Itoh H., Higuchi
Y., Arai H., Takamiya C. and Kurachi M.
『Psychiatry Research』157 2008
- 「Neurocognitive assessment and phar-
macotherapy towards prevention of
schizophrenia: What can learn from first
episode psychosis?」 Sumiyoshi T.,
Kawasaki Y., Suzuki M., Higuchi Y., Nishi-
yama S., Kurachi M. 『Clinical Psycho-
pharmacology and Neuroscience』6
2008
- 「Serotonin1A receptors in the pathophysi-
ology of schizophrenia, Development of
novel cognition-enhancing therapeutics」
Sumiyoshi T., Bubenikova-Valesova V.,
Horacek J., Bert B. 『Advances in
Therapy』25 2008
- semantic memory deficits in schizophre-
nia: Similar impairments of semantic
memory across Turkish and Japanese
patients. Ertugrul, A. Yacioglu, E. A., Su-
miyoshi, T. Psychiatry Research, 167
2009
- 統合失調症の認知機能障害における使用
言語の影響：文字流暢性課題を中心に
単著 脳と精神の医学 20 2009
- 【学会発表】** 「発達障害児の知識構造について：語流
暢性課題による検討」 住吉チカ・山
下委希子・住吉太幹 『第72回日本心
理学会大会論文集』 関札幌 2008.9
- 「幼児の生物知識の発達：語流暢性課題
による検討」 『第50回日本教育心理
学会大会論文集』 関東京 2008.10
- Semantic memory impairment in Turkish
and Japanese patients with schizophre-
nia Sumiyoshi C., A Ertugrul A, Yacioglu,
Sumiyoshi T. 第4回日本統合失調症
学会 関大阪 2009.3
- Language-dependent performance on the
verbal fluency tasks in schizophrenia:
A cross-linguistic study Sumiyoshi C.,
A Ertugrul A, Yacioglu A, Roy, A., Jay-
athirake, K., Meltzer, H. Y., Sumiyoshi T
第4回日本統合失調症学会 関大阪
2009.3
- 鶴巻 正子**
- 【著 書】** ライフサイクルからよむ障害者の心理と
支援 分担著 福村出版
- 【学会発表】** 自閉傾向のある児童への包括的な学級支
援—授業を阻害する発言に対する担任の
働きかけ— 日本自閉症スペクトラム
学会第7回研究大会 関東北大学
2008.9
- 否定的記述を含む測定が児童に及ぼす影
響 日本特殊教育学会第46回大会
「2008山陰大会」 関米子コンベンショ
ンセンター 2008.9

ADHDのある中学生に対する英単語の読み綴り指導—見本合わせ手続きと構成見本合わせ手続きを導入した指導プログラム— 日本特殊教育学会第46回大会「2008山陰大会」 関米子コンベンションセンター 2008.9

比較刺激に対する反応分化手続き導入による構成見本合わせ課題獲得の促進効果 日本行動分析学会第26回年次大会 関横浜国立大学 2008.8

富永美佐子

【論文】 「進路選択能力と進路選択自己効力が進路選択行動に与える影響—高校生・大学生の発達差の検討—」 『東北大学大学院教育学研究科研究年報』 56(2) 2008.6

「進路選択能力と自己効力に関する研究の現状と課題」 『キャリア教育研究』 25(2) 2008.3

【学会発表】 「青年期の進路選択能力と進路選択自己効力が進路選択行動に与える影響—中学生・高校生・大学生を対象に—」 『日本キャリア教育学会第29回研究大会発表論文集』 関東北大学 2008.10

「高校生のキャリア選択の構造」 『日本発達心理学会第19回大会発表論文集』 関大阪国際会議場 2008.3

「中学生の進路選択の構造」 『日本教育心理学会第50回大会発表論文集』 関東京学芸大学 2008.9

中野 明德

【論文】 H.S. サリヴァンの精神障害論—対人関係のダイナミズム— 福島大学心理臨床研究 3号 2008.7

学校不適応生徒を持つ保護者に対するグループワーカー—中学校のスクールカウンセリングルームでの試み— 齊藤麻里 福島大学心理臨床研究 3号 2008.7

潜在的相談ニーズをふまえた援助に関する—考察—中学校のカウンセリングルームにおける心理教育の試み— 田村悠 福島大学心理臨床研究 3号 2008.7

心療内科患者のリラクゼーション過程に関する研究—リラクセス尺度 (STRS) の作成と臨床への適用— 茶谷穰治 福島大学心理臨床研究 3号 2008.7

H.S. サリヴァンの精神医学的面接論—関与観察の方法— 福島大学総合教育研究センター紀要 5号 2008.7

スクールカウンセリング 精神科治療学 23巻(増刊) 2008.10

発達障害が疑われる不登校児童生徒の実態—福島県における調査から— 福島大学総合教育研究センター紀要 6号 2009.1

【調査報告】 平成19(2007)年度福島大学総合教育研究センター附属臨床心理・教育相談室活動報告 青木真理・生島浩・水野薫・渡辺隆 福島大学心理臨床研究 3号 2008.7

2007年度臨床心理・教育相談室「フレンドルーム」活動報告 小野陽平・齊藤麻里・田村悠・鴫田真奈美・佐藤智子・三瓶智代・山本佳奈・青木真理 福島大学心理臨床研究 3号 2008.7

2007年度臨床心理・教育相談室「スマイル会」活動報告 田中照子・大内奈美・深谷妙子・中村志寿佳・青木真理 福島大学心理臨床研究 3号 2008.7

総合教育研究センター「教育実践研修講座」2007年度活動報告 青木真理・昼田源四郎・生島浩・鈴木庸裕・水野薫・渡辺隆 福島大学総合教育研究センター紀要 5号 2008.7

【学会発表】 発達障害が疑われる不登校児童生徒について—福島県における調査から— 日本精神衛生学会 関別府市 2008.11

中村 恵子

【論文】 大学生に必要な食の教育について 福島大学人間発達文化学類論集 第7号 2008.6

小学生における野菜の好き嫌い—家庭料理への野菜の使用状況について— 水口菜々恵 福島大学総合教育研究センター紀要 第5号 2008.7

【学会発表】 大学生における包丁技能及び知識について 日本家庭科教育学会大会 関グランシップ(静岡) 2008.6

福島県における米の摂取・調理方法と米に対する意識調査(第2報) 日本調理科学学会大会 関椛山女学園大学 2008.8

肉類の加熱における余熱の有効利用 日本調理科学学会大会 関椛山女学園大学 2008.8

福島大学学生の食生活の実態と課題について 日本家庭科教育学会東北地区会 関コラッセ福島 2008.11

【その他】 東日本における凍み大根について 日本調理科学会誌 第42巻1号 2009.1

中村 哲也

【論文】 教材「ゼブラ」と思春期の心の成長—共

感と回復 福島大学人間発達文化学類
論集(人文科学部門) 第8号 2008.12

メディアの変容と読み書き文化—メディア
史から見た子ども・青年・学校教育の
変貌 言文 第56号 2009.3

浜島 京子

【著 書】 小学校家庭科教育研究 共著 学芸
図書株式会社

【調査報告】 生涯につながる健康生活教育のプランニ
ングに関する研究 平成17~19年度科
学研究費補助金(基盤研究(C))研究
成果報告書 2008.6

【学会発表】 日本と台湾の小学校における家庭生活関
連学習及び児童の生活認識・実態に関す
る比較研究—台湾の初等教育内容の特徴
及び日・台児童の食認識等について—
日本家庭科教育学会第51回大会 函静岡
県コンベンションアーツセンター「グラ
ンシップ」 2008.6

台湾の初等教育における食物学習の内容
に関する考察 日本家庭科教育学会
東北地区会平成20年度大会 函コラッセ
ふくしま 2008.11

松崎 博文

【論 文】 特別支援児が在籍する通常学級における
包括的な学級支援(2)—雑誌及びアン
ケート調査にみる実践例の分析から—
村田朱音 福島大学総合教育研究セン
ター紀要 第6号 2009.1

文学・芸術学系

新井 浩

【実 技】 蝶が舞う森<環>175*60*60 第82
回国展彫刻部 函国立新美術館 会員出
品 2008.5

個展幻想の森をテーマに新井浩個展
33点出品 函日本橋三越本店 権威ある
画廊企画 2008.9

蝶が舞う森<環 No.2>75*23*23
第32回彫刻部の試み展 函東京都美術館
彫刻部出品 2008.12

奏—吹き渡る風—ほか2点出品 十
二月展 函ギャラリーニケ銀座 画廊企
画 2008.12

嶋津 武仁

【学会発表】 「日本の音楽の表現 西洋音楽との溝」
福島大学附属中学校公開講演 2008.5

「Electronic music for Japanese composer
now -its tendency until now」 2008

MUSIACOUSTICA CEMC-EMSAN day
Asian Forum 函The Large Hall of The
China Millennium Moment 2008.10

「Difference between Japan and Europe
in the Electro-acoustic Music」 The32
nd InSEA World Congress 2008 World
Congress and Reseach Conference Inter-
national House 函CCON(北京中央音
楽院) Studio 5 2008.10

【実 技】 編曲「ジムノペディー」(原曲:サティ)
『福島大学管弦楽団サマー・コンサー
ト』 函福島市音楽堂 2008.8

「パフォーマンス『石』の音楽」 『会
津アート・カレッジ』 函会津三島町
2008.9

「"Roaming Stars SAN" for 13-gen Koto
and projector」 Mediation Biennale Cen-
trum Kultury Zamek 函Poznan, Po-
land 2008.10

「Electronic music "Thought in Zero de-
gree"」 Beijing Electronic MusicFes-
tival2008 函北京中央音楽院附属高校ホ
ール 2008.10

オーケストラの為に「子守唄」 オー
ケストラ・フィルジッヒ演奏会 函福島
市音楽堂 2009.1

コンピュータ音楽「石の息」 電子音
楽コンサート 函日仏会館(東京)
2009.2

【その他】 評論「都響コンサート」 福島民報
2008.3

健康・運動学系

新谷 崇一

【調査報告】 福島大学スポーツセンター構想~その可
能性を探る~ 福島大学地域創造 第
20巻第2号 2009.2

小川 宏

【論 文】 小学校における「運動身体づくりプログ
ラム」に関する調査研究—福島県内小学
校教員へのアンケート調査より— 森
知高・菅家礼子・田村高弘 福島大学
総合教育研究センター紀要 第5号
2008.7

【実 技】 第33回東北バレーボール大学男女リーグ
戦男子1部 東北大学バレーボール連
盟 優勝 2008.4

第34回東北バレーボール大学男女リーグ
戦男子1部 東北大学バレーボール連
盟 優勝 2008.9

川本 和久

【著 書】 福島大学陸上部の「速い走り」が身につく本 単著 マキノ出版

【論 文】 CONTRIBUTION OF ENERGY SYSTEM IN 400m DASH AND USE OF ASTAXANTHIN IN TRAINING CAROTENOID SCIENCE vol.12 2008.6

【学会発表】 CONTRIBUTION OF ENERGY SYSTEM IN 400m DASH AND USE OF ASTAXANTHIN IN TRAINING The 15th International symposium on carotenoids 関沖縄 2008.6

【実 技】 400m 日本記録51秒75 丹野麻美 静岡国際陸上 関静岡 2008.5

プレ五輪 400m 1位 丹野麻美 関北京 2008.5

プレ五輪 400mH 2位 久保倉里美 関北京 2008.5

プレ五輪 4×400mR 1位 丹野麻美・久保倉里美・木田真有・青木沙弥佳 関北京 2008.5

北京五輪 400m 丹野麻美 関北京 2008.8

北京五輪 400mH 準決勝進出 久保倉里美 関北京 2008.8

北京五輪 4×400mR 丹野麻美・久保倉里美・木田真有・青木沙弥佳 関北京 2008.8

日本学生対校選手権大会女子総合優勝 福島大学 関東京 2008.9

400mH 日本記録55秒46 久保倉里美 大分国体 関大分 2008.10

400mH 日本学生記録55秒94 青木沙弥佳 大分国体 関大分 2008.10

【その他】 ●報道機関を通じての発表 「フロントランナー」 朝日新聞 2ページ特集 2008.4

「週刊こどもニュース：ポン・ピュン・ラン」10分 NHK 2008.9

「ズームインスーパー：ポン・ピュン・ラン」5分 日本テレビ 2008.10

「ホリデイインタビュー」50分 NHK 2008.10

「世界一受けたい授業：ポン・ピュン・ラン」15分 日本テレビ 2009.3

●学会賞等受賞 日本学生陸上競技連合 功労賞 2008.9

福島県体育協会 特別賞 2008.11

日本陸上競技連盟 アスレティックアワード特別賞 2008.12

菅家 礼子

【調査報告】 「平成19年度福島県児童生徒の健康、体力・運動能力の現状」 森知高・菅家礼子・小川宏 2009.3

「身体リテラシー」概念の導入による授業の構想 菅家礼子 「身体リテラシー」教育研究報告書 2009.3

健康運動科実習「フィットネス」の授業実践—学生の感想に基づいて— 菅家礼子 「身体リテラシー」教育研究報告書 2009.3

黒須 充

【著 書】 総合型地域スポーツクラブの時代 第2巻 行政とクラブとの協働 編著 創文企画 p1—pp20, pp79—pp129 2008.6

【調査報告】 総合型クラブ育成の進捗状況と二極化 月刊みんなのスポーツ 2008.8/9月号 2008.8

「総合型地域スポーツクラブを核とした活力ある地域づくり推進事業」事業報告書 うつくしま広域スポーツセンター 2008.4

杉浦 弘一

【調査報告】 「身体リテラシー」教育研究報告書 杉浦弘一ほか、計16名 平成18～20年度科学研究費補助金基盤研究© 2009.3

【学会発表】 福島大学学生版身体活動量調査票 (FU-PAQ) 改良版の作成について 日本体力医学会東北地方会第18回大会 関山形県 2008.6

【実 技】 福島大学女子バスケットボール部 (ヘッドコーチ) 第9回東北学生バスケットボールリーグ 1部第6位 2008.9～10

福島大学男子バスケットボール部 (ヘッドコーチ) 第9回東北学生バスケットボールリーグ 2部南奥羽地区優勝 2008.9～10

【その他】 福島大学学生版身体活動量調査票を用いた身体活動量の推定 体力科学 Vol.57, No.5, p591 2008

深倉 和明

【論 文】 福島大学附属幼稚園「子育て支援事業」活動について 齋藤和代・星俊子・遊佐早苗・佐藤久美子 福島大学総合教

育研究センター紀要 第6号 2009.1

森 知高

【著 書】 体育の見方、変えてみませんか 共著
学研

安田 俊広

【学会発表】 運動後の継続的なBCAA摂取が筋損傷に
与える影響 第64回日本体力医学会大
会 関新渥 2009.9

外国語・外国文化学系

衛藤 安治

【著 書】 『英語史研究ノート』 共著 開文社

井本 亮

【著 書】 事象アスペクト論 岩本遠億編著
開拓社

【論 文】 意味範疇の文法性判断への関与について
—事象関連電位を用いた実験言語学的研
究— 井本亮・福盛貴弘 実験音声
学・言語学研究 1 2009.3

【学会発表】 Semantic coersion in Japanese resulta-
tives 第6回現代日本語文法研究会
関筑波大学 2008.10

【その他】 大学と行政の連携について—福島県国際
交流協会と福島大学の取り組み— 井
本亮・中川祐治・半沢康 「日本語学
習支援ネットワーク会議08inAKITA」に
て報告 2008.12

金 敬雄

【論 文】 朝鮮の漢文解釈に見える母語干渉—『論
語』の「而」を中心に— 単著 国
際文化研究 第15号 2009.3

Gunske von Kölln, Martina

【論 文】 Kulturvermittlung in asiatischen DaF-
Lehrwerken auf Grundstufenniveau-
Lehrwerkgestaltung zwischen didak-
tischem Wunschdenken und praktikabler
Realität Tagungsband zur Asiat. Ger-
manistInnentagung, Seoul, 2006 2008.8

【調査報告】 「Research of process & product differ-
ences in grammar knowledge —教え方
によって文法の能力がどう違うか。」
2009.3

【学会発表】 Kannbeschreibungen als Instrument bei
der Vorbereitung mündlicher Semesterab-
schlussprüfungen - Ein Erfahrungsbericht
第34回全国語学教育学会 2008.11.1

Aus unserem Klassenzimmer geplaudert
Der Unterricht mit dem Lehrbuch

"Schritte" 東北ドイツ文学会 研究
発表会 2008.11.15

Grammatik lehren oder lernen — welche
Konsequenzen ergeben sich für Lernende?
第14回ドイツ語教育法ゼミナール
2009.3

佐久間康之

【論 文】 「ワーキングメモリ内の英語処理に関す
る母語話者と日本人外国語学習者との比
較研究」 佐久間康之 JLTA Jour-
nal (日本語テスト学会) pp.173—
188. No.11 2008.10

"The Characteristics of Retrieval in Dual
Task for Japanese EFL Learners: Serial
Position Effect" Yasuyuki SAKUMA
『外国語教育論集』(筑波大学外国語セン
ター) pp.15—25. 第31号 2009.3

"Changes in Listening Ability and Psy-
chological Factors Influenced by Eleme-
ntary School English Activities" Yasuyuki
SAKUMA ARELE(全国英語教育学会)
pp.221—230. Vol.20 2009.3

「公立小学校低学年の英語活動がもたら
すリスニング力及び心理的要因への影
響」 佐久間康之 『東北英語教育
学会研究紀要』(東北英語教育学会)
pp.1—15. 第29号 2009.3

【学会発表】 「公立小学校低学年の英語リスニング力
と心理的要因との関係」 佐久間康之
第8回小学校英語教育学会 (JES) 福島
大会 関郡山市:ビッグパレットふく
しま 2008.7

「小学校英語活動におけるリスニング力
と心理的要因に関する1年後の変容:小
学3年から6年のデータをめぐって」
佐久間康之 第34回全国英語教育学会
東京研究大会 関東京都:昭和女子大学
2008.8

佐野 敦至

【学会発表】 前置詞sur+Nom de localiteについて
日本フランス語フランス文学会東北支部
関福島大学 2008.11

霜鳥 慶邦

【論 文】 「作家の受容と「世界」の視座」 『英
語青年』 第154巻第4号 2008.6

「The Last Tommy's 110th Birthday」
『英語青年』 第154巻第7号 2008.9

「大戦文学の系譜学へ向けて」 『英
語青年』 第154巻第10号 2008.12

【訳書・翻訳】 『D.H. ロレンス書簡集Ⅱ 1910/7—

11] 共訳 松柏社 2008.12
滝沢 雄一

【論文】「第二言語教師の知識と教師教育研究」
『中部地区英語教育学会紀要』 第38号
2009.1

【学会発表】「第二言語教師教育研究の動向と課題」
第38回中部地区英語教育学会 長野大会
圏清泉女学院大学 2008.6

根本 典子

【論文】 On Bodily Motion Expressions with
Swing and Wriggle Tsukuba English
Studies 27 2009

真歩仁 しょうん

【学会発表】 Grave Errors in the eyes of Beholders
単著 全国言語教育学会(JALT)
圏東京 2008.11

【その他】 福島県教育委員会主催「平成20年度外国
語指導助手中間期 研修会」 JET
Lessons Learned: Understanding Human
Relations in Class and Beyond 圏福島テ
ルサ 2008.11

法律・政治学系

今井 照

【著書】『「平成大合併」の政治学』 単著
公人社

『市民自治のこれまで・これから』
共著 公職研

『自治体政策研究ノート』 単著
公人の友社

【論文】「自治体行財政の課題」 『JP 総研リ
サーチ』 通巻2号 2008.4

「郵政民営化と自治体経営改革～郵便局
窓口と自治体行政組織との融合の可能性
について」 『自治総研』 通巻第
355号 2008.5

『「総合行政主体」論の軌からの脱却』
『ガバナンス』 通巻第112号 2008.8

「市町村合併に伴う自治体政治動向につ
いて (2008)―自治体選挙、直接請求等
の集計・分析―」 『自治総研』 通
巻第360号 2008.10

「人口減少社会の地域社会をどう設計す
るか」 『月刊自治研』 通巻592号
2009.1

「自治体のアウトソーシングと非『正
規』職員」 『ガバナンス』 通巻第
118号 2009.2

【学会発表】「合併と自治の今とこれから」 自治
体学会 圏盛岡市 2008.8

【書評】 本の紹介 中村昭雄『基礎からわかる政
治学』(芦書房、2008年) 『都政新
報』 通巻第5473号 2008.11

金井 光生

【論文】 憲法哲学の執拗低音(1)―問主観―身
体的コミュニケーション的存在論として
の憲法学のために― 単著 行政社
会論集 21巻3号 2009.2

憲法哲学の執拗低音(2)―問主観―身
体的コミュニケーション的存在論として
の憲法学のために― 単著 行政社
会論集 21巻4号 2009.3

富田 哲

【著書】 法学の考え方・学び方 イェーリングに
おける「秤」と「剣」 単著 公人
の友社 2009.3

渡辺洋三先生追悼論集 日本社会と法律
学 共著 日本評論社 相続にお
ける生活保障的機能の問題点を分担
2009.3

【論文】 対価的相続意識の問題点 扶養と相続の
一断面 行政社会論集 第21巻第2号
2008.10

成年後見と医療同意 外国報を参照する
試み 法政論集(名古屋大学) 第
227号 2008.12

【調査報告】 福島における法律相談と法学教育 法
律・政治学系法学研究グループ 行政社
会論集 第21巻第3号 日本司法書士会
を分担 2009.2

中里見 博

【著書】 クローズアップ憲法 共著 法律文
化社 2008.4

近代ヨーロッパの探求11 ジェンダー
共著 ミネルヴァ書房 2008.7

企業・市場・市民社会の基礎法学的考察
共著 日本評論社 2008.10

現代憲法における安全―比較憲法学的研
究をふまえて 共著 日本評論社
2009.3

【論文】 フェミニズムと憲法学 単著 ジュ
リスト増刊「憲法の争点」 2008.12

社会・歴史学系

浅岡 善治

【書評】 高田和夫著『近代ロシア農民文化史研

究一人の移動と文化の変容』 岩波書店
(二〇〇七年三月) 単著 『ロシア
史研究』 第82号 2008.5

池田嘉郎『革命ロシアの共和国とネイ
ション』 単著 『歴史学研究』
第849号 2009.1

今西 一男

【調査報告】 地域自治組織から見た地方都市における
マンション立地—福島市を事例に—
単著 2008年度日本建築学会大会学術
講演梗概集F-1 p.49-50 2008.7

【学会発表】 地域自治組織から見た地方都市における
マンション開発 都市住宅学会大会第
16回学術講演会 関松山大学 2008.11

地域自治組織から見た地方都市における
マンション立地—福島市を事例に—
2008年度日本建築学会大会学術講演会
関広島大学 2008.9

【その他】 なぜいま「政策形成型研修」か—「全国
の自治体職員研修機関における『政策形
成型研修』の実施に関する調査」から—
(上) 単著 公職研編集・発行『地
方自治職員研修』2008年10月号 p.84—
85 2008.10

なぜいま「政策形成型研修」か—「全国
の自治体職員研修機関における『政策形
成型研修』の実施に関する調査」から—
(下) 単著 公職研編集・発行『地
方自治職員研修』2008年11月号 p.82—
83 2008.11

高橋 準

【著 書】 ジェンダー学への道案内 (改訂版)
単著 北樹出版

【論 文】 戦後日本における女性のライフコースの
変化と労働、生活に対する意識—福島県
立A高校卒業生への聴き取り調査から
行政社会論集 21巻4号 2009.3

【書 評】 フェミニストは「トラブル」がお好き？
(金井淑子編著『身体とアイデンティ
ティ・トラブル』明石書店刊、を読む)
図書新聞 2885号 2008.9

丹波 史紀

【著 書】 公的扶助論—低所得者に対する支援と生
活保護制度— 岩田正美・杉村宏編著
ミネルヴァ書房

現場がつくる新しい社会福祉 総合社
会福祉研究所編 かもがわ出版

よくわかる公的扶助 杉村宏・岡部卓
・布川日佐史編 ミネルヴァ書房

【調査報告】 福祉・教育・医療など広く社会的な努力

でしあわせ平等の実現を 福祉のひろ
ば pp.9-11 2008.10

牧田 実

【著 書】 あすの地域論 共著 八潮社

安田 尚

【論 文】 「ピエール・ブルデューのメディア論」
行政社会論集 20巻4号 2008.3

経済学系

阿部 高樹

【論 文】 「日本における沿岸漁業の共同体管理：
経済学的分析に向けて」 単著 『福
島大学地域創造』 第20巻第2号
2009.2

【その他】 (研究ノート) 「ホッキガイの資源管理
型漁業—東北地方主要漁場について—」
井上健・東田啓作 『海洋水産エンジ
ニアリング』 第81号 2008.9

飯島 充男

【論 文】 「国際化農政と地域の農業」 単著
清水修二・小山良太・下平尾勲編著『あ
すの地域論』八潮社 2008.10

【調査報告】 公共転用等が土地利用に与える影響分析
調査報告書 小野塚孝一・菅野駿一・
松川寿也・清野英二 他 全国農業会
議所 2009.3

大野 正智

【論 文】 Invoice currencies, import prices, and
inflation 東北経済学会誌 2009.3

【学会発表】 Trading Companies as Financial Inter-
mediaries in Japan Western Economic
Association International 関龍谷大学
2009.3

Invoice currencies, import prices, and in-
flations 東北経済学会 関岩手大学
2008.9

熊本 尚雄

【論 文】 Currency Substitution, Network Exter-
nalities and Hysteresis Effects 熊本方
雄 商学論集 77巻1号 2008.9

【訳書・翻訳】 MBAのためのミクロ経済学入門Ⅱ—ゲ
ーム・情報と経営戦略— 共訳 東
洋経済新報社 2009.3

小島 彰

【調査報告】 「ホッキガイの資源管理型漁業—相馬双
葉漁協請戸支所、いわき市漁協久之浜支
所・沼之内支所の事例—」 井上 健

・小島 彰・東田啓蒙 『福島大学地域創造』 第20巻第1号 2008.9

「ホッキガイの資源管理型漁業—網走支庁4漁協の事例—」 東田啓作・井上健・小島 彰 『福島大学地域創造』 第20巻第2号 2009.2

小山 良太

【著 書】 あすの地域論 共編著 八朔社

【論 文】 「市場形態の多様化が軽種馬関連産業に及ぼす影響—競馬の国際化と北海道日高地域の対応—」 『商学論集』 第77巻第1号 2008.9

「過疎中山間地域における農用地利用集積と担い手法人の展開—福島県昭和村グリーンファームを対象として—」 松本浩一・芦田敏文 『地域創造』 第20巻第1号 2008.9

「JA伊達みらいにおける営農指導体制と組合員組織の活性化」 『農業・農協問題研究』 第39号 2008.8

【調査報告】 「中山間地域の振興課題とネットワーク型地域づくりの可能性」 『ふるさとづくり講演集3』 2009.3

「福島県農業の現段階と農協組織の戦略課題（その2）—JA伊達みらいにおける営農経済・組織対策—」 『地域と農業』 第72号 2009.1

「福島県農業の現段階と農協組織の戦略課題（その1）—福島県農協の特徴と組織課題—」 『地域と農業』 第71号 2008.10

「福島県における過疎中山間地域振興（第2回）—産直屋台『いなGO』の取り組み—」 『地域と農業』 第70号 2008.7

「福島県における過疎中山間地域振興（第1回）—南会津町伊南地区と福島市中心市街地のネットワーク—」 『地域と農業』 第69号 2008.4

「農協とムラ—福島県昭和村を事例として—」 『自治村落的農村社会の変貌と新たな農村行政・団体組織構築の条件解明に関する研究』 平成17～20年度科学研究費補助金〔基盤研究（B）〕研究成果報告書（代表：大鎌邦雄） 2009.3

【学会発表】 「軽種馬家族専業経営の収支構造分析」 日本ウマ科学会 函品川きゅりあん 2008.12

「産消連携と協同組合間協同」 日本協同組合学会 函福島大学 2008.9

「軽種馬産業集積産地の地域構造—競馬産業のグローバル化と北海道日高地域—」 経済地理学会 函福島大学 2008.7

【書 評】 坂野百合勝『これからのJA組合員組織活動』家の光協会 2008年 217頁 『農業と経済』 第74号第8号 2008.7

中村 勝克

【論 文】 「A note on the Constant-Elasticity-of-substitution production function」 H.Nakamura, M.Nakamura Macroeconomic Dynamics 12巻5号 2008.11

沼田 大輔

【論 文】 デポジット制度に対する供給側の抵抗をどう緩和するか 地域学研究 38(1) 2008.8

On Illegal Activities in the California State Beverage Container Deposit System Fukushima University Discussion Paper Series 53 2008.10

デポジット制度がもたらす正負の影響：経済学的研究のサーベイ 廃棄物学会論文誌 19(6) 2008.11

Economic Analysis of Deposit-Refund Systems with Measures for Mitigating Negative Impacts on Suppliers Resources, Conservation and Recycling 53(4) 2009.2

使用済み蛍光灯の回収を促す経済的手法の評価 植田和弘 社会技術研究論文集 6 2009.3

【学会発表】 未返却預り金の徴収が制度運営主体に与える影響について—カリフォルニア州の飲料容器デポジット制度をもとに— 環境経済・政策学会2008年大会 函大阪大学 2008.9

廃棄物・有価物・有用物・有害物デポジット—概念の特徴— 田崎智宏、松本津奈子との共同発表 環境経済・政策学会2008年大会 函大阪大学 2008.9

家庭系危険有害廃棄物の安全な回収を促す経済的手法について 植田和弘との共同発表 第19回廃棄物学会研究発表会 函京都大学 2008.11

初澤 敏生

【著 書】 伝統産業産地の行方 共著 学文社 日本各地誌 4 東北 共著 朝倉書店

【論 文】 「新庄まつり」の地域的存立基盤 単著 東北都市学会年報 7・8

- 2008.5
- 【訳書・翻訳】 教育系大学・学部においてボランティア活動が持つ3つの可能性 共著 日本教育大学協会報告書 2009.3
- 【学会発表】 山形県置賜産地の生産構造 単著 東北地理学会 函宮城県立大学 2008.5
- 新学習指導要領に基づく日本地理学習の構成に関する一考察 単著 立正地理学会 函立正大学 2008.6
- 小学校5年社会科において学習する「主な国」の選択に関する一考察 単著 全国地理教育学会 函目白大学 2008.11
- 【書評】 青木英一「わが国陶磁器産地における生産減少への対応」 単著 中小企業季報 2008 No.3 2008.10

経営学系

吉田 智也

- 【著書】 エッセンス簿記会計第5版 共著(分担執筆) 森山書店
- 全経簿記上級商業簿記・会計学テキスト第2版 共著(分担執筆) 中央経済社
- 財務会計学通論 共著(分担執筆) 税務経理協会
- 【その他】 税理士受験ハイパー・トレーニング簿記論(第8回~第12回) 『会計人コース』 43・4~43・10 2008.4~2008.8
- 「新会計基準における勘定科目の利用」 日本簿記学会簿記実務研究部会・報告 函法政大学(東京都千代田区) 2008.10
- 「公会計の基本的な仕組み」 会計戦略研究会・報告 函チェンバおおまち(福島市) 2008.12
- 「棚卸資産会計基準における勘定科目」 日本簿記学会簿記実務研究部会・報告 函法政大学(東京都千代田区) 2008.12
- 「公会計の現状と課題」 会計戦略研究会・報告 函チェンバおおまち(福島市) 2009.1

数理・情報学系

相原 義弘

- 【論文】 Deficiencies of holomorphic curves in complex projective spaces 単著 OCAMI Studies Vol.2,119-124 2008

- 【学会発表】 Deficiencies of holomorphic curves in projective algebraic manifolds The 16th International conference on finite and infinite dimensional complex analysis 函Dongguk Univ.,Korea 2008.7

Deficiencies of holomorphic curves for hypersurfaces and linear systems Workshop on Complex Hyperbolic Geometry and Related Topics 函Fields Institute, Toronto Univ.,Canada 2008.11

Deficiencies of holomorphic curves for linear systems 等角写像・値分布論 合同研究集会 函金沢大学 2008.11

石岡 賢

- 【学会発表】 持続可能性を考慮した製品開発マネジメントに関する概念的考察 共著 経営情報学会2008年秋季全国研究発表大会 予稿集 函仙台 2008.11

篠田 伸夫

- 【論文】 「新学習指導要領におけるteiten2000の活用」 渡邊景子・渡辺昌邦・篠田伸夫 いわき明星大学科学技術学部研究紀要 22巻 2009.3

「教材としてのteiten2000の活用」 渡辺昌邦・渡邊景子・篠田伸夫・永野和男 日本教育工学会研究報告集 JSET08-5 2008.12

「定点観測システムの構築と観測データの提供」 篠田伸夫・渡邊昌邦・渡邊景子 日本産業技術教育学会東北支部研究論文集 2 2008.11

「広域定点観測プロジェクトの成果と課題」 渡辺昌邦・渡邊景子・篠田伸夫・永野和男 電子情報通信学会技術研究会報告 108-146 2008.7

- 【学会発表】 「教材としてのteiten2000の活用」 渡部昌邦・渡邊景子・篠田伸夫・永野和男 日本教育工学会 函いわき明星大学 2008.12

「teiten2000データ検索インターフェース「空」の開発」 篠田伸夫・渡部昌邦・渡邊景子・永野和男 情報ネットワーク教育活用研究協議会合宿研究会 函コスモスクエア国際交流センター 2008.7

「広域定点観測プロジェクトの成果と課題」 渡部昌邦・渡邊景子・篠田伸夫・永野和男 電子情報通信学会教育工学研究会 函福島大学 2008.7

董 彦文

- 【論文】 Development of A Customer Credit Evaluation System via Case-based Rea-

soning Approach ASIA-PACIFIC
JOURNAL OF INDUSTRIAL MANAGE-
MENT Vol.1, No.1 2008.10

- 【学会発表】 ファジィ加重平均を用いた取引先信用評価手法に関する研究 単著 日本ロジスティクスシステム学会 関日本大学 2008.6

事例ベース推論を用いた生産日程計画システムの設計 共著 日本経営工学会 関大阪府立大学 2008.10

中村 勝一

- 【論文】 LabChart: A Support System for Collaborative Research Activities in University Laboratories Miyadera,Y.,Nanashima,T.,Yokoyama,S. Proc.12th International Conference Information Visualisation, pp.169-178,IEEE Computer Society Press 2008.7

A Discussion Model for System Design Novices Watanabe,M.,Hazeyama,A.,Yokoyama,S.,Miyadera,Y. Proc.12th International Conference on Knowledge-Based and Intelligent Information and Engineering Systems,in Part III,LNAI 5179,pp.604-615,Springer 2008.9

A Model for Navigating Discussions Among System Design Novices and its Practical Evaluations Hazeyama,A.,Yokoyama,S.,Miyadera,Y. International Journal of Advanced Intelligence Paradigms Vol.1,No.2, pp.113-125 2009.3

- 【学会発表】 エラー要因事例ベースの動的学習手法を導入したC言語教育システムの開発と基礎的評価 電子情報通信学会 ET研究会 関福島 2008.7

論文構成要素に着目した論文間関係把握支援手法の提案 電子情報通信学会 ET研究会 関石川 2008.11

電子メール中の議論過程抽出手法の提案 電子情報通信学会 ET研究会 関宮崎 2008.12

論文構成要素に着目した論文間関係把握支援システムの開発 電子情報通信学会 ET研究会 関香川 2009.3

学習者に適応的なプログラミング学習環境構築のためのリアルタイムな理解状況把握手法 情報処理学会第71回全国大会 関滋賀 2009.3

学習環境ユビキタス実現のための適応的グリッド型システムの構築 電子情報通信学会2009総合大会 関愛媛 2009.3

星野 珉二

- 【著書】 NPO・市民活動発展の2つの要件 共著 北土社 清水修二・鈴木浩・斉藤実編著『地域力再生』所収 70-84. 2008.4

【論文】 エントロピー・モデルによる商業施設配置問題の分析 陳埼 福島大学地域創造, 第20巻, 第2号,27-39. 2009.2

三浦 一之

- 【論文】 Convex Grid Drawings of Plane Graphs with Rectangular Contours Akira Kamada,Takao Nishizeki Journal of Graph Algorithms and Applications 12:2 2008.10

Octagonal Drawings of Plane Graphs with Prescribed Face Areas Md.Saidur Rahman,Takao Nishizeki COMPUTATIONAL GEOMETRY: Theory and Applications 42:3 2008.9

Open Rectangle-of-Influence Drawings of Inner Triangulated Plane Graphs Tet-suya Matsuno,Takao Nishizeki Discrete and Computational Geometry 41 2008.7

横山 雅夫

- 【論文】 Flow-shop Scheduling with Setup and Assembly Operations European Journal of Operational Research Vol.187,No.3, pp.1184-1195 2008.6

機械・電子学系

石原 正

- 【論文】 LTR design of integral controllers for time-delay plants using disturbance cancellation H.J. Guo International Journal of Control 81巻7号 2008.7

Asymptotic sensitivity properties of Davison type integral controllers for time-delay plants L.A. Zheng, H.J.. Guo Proceedings of 17th IFAC World Congress 2008.7

Development of the actively-controlled beds for ambulances T. Ono,H. Inooka Proceedings of the UKACC International Conference on Control 2008.9

Design of critical control systems using disturbance cancellation controllers T. Ono Proceedings of the UKACC International Conference on Control 2008.9

非最小位相系に対する非標準最適制御問題
第51回自動制御連合講演会 関米
沢 2008.11

岡沼 信一

【論文】 Consideration of Electric Power Conversion Efficiency Improvement of Magnetic Oscillation-type DC-AC Converter Y. Ogata Journal of the Magnetics Society of Japan Vol.33, No.2 2009.3

Numerical Circuit Analysis of a Magnetic Oscillation Type Sinusoidal Inverter Yoshitomo OGATA 電気学会論文誌A IEEJ Trans.FM. Vol.128, No.8 2008.8

磁気発振型正弦波出力インバータの基礎特性 尾形嘉智 日本産業技術教育学会東北支部研究論文集 Vol.2 2008.12

Fundamental Characteristics of a DC-AC Converter with Sinusoidal Output Utilizing Magnetic Oscillation Ogata Yoshitomo ICEE2008 (The International Conference on Electrical Engineering 2008) PF-078 2008.8

Basic Characteristics of a DC-AC Converter with Sinusoidal Output Utilizing Magnetic Oscillation Yoshitomo OGATA TENCON (The IEEE International Region 10 Conference)2008 1569130169 2008.11

【学会発表】 磁気発振型DC-ACコンバータの基礎特性に関する一考察 日本産業技術教育学会第26回東北支部大会講演論文集, B11 関福島 2008.11

ブリッジ結合磁路を用いた磁気発振型DC-ACコンバータ 第32回日本磁気学会学術講演会, 12pE-2 関仙台 2008.9

磁気発振型DC-ACコンバータの基礎特性に関する一考察 第32回日本磁気学会学術講演会, 12pE-3 関仙台 2008.9

小沢 喜仁

【論文】 Development of Three Dimensional Micro Structure of Composite Materials with Bacterial Cellulose Kikuchi, T., Ozawa, Y., Watanabe, M., and Yabuki, K. Proceedings of Fifth International Workshop on Green Composites (IWGC-5) pp.61-64. 2008.8

Development of Three-Dimensional BC Form for Advanced Composite Materials Ozawa, Y., Kikuchi, T., Watanabe, M., Yabuki, K., and Kanomata, S. Proceedings of Fifth International Workshop on

Green Composites(IWGC-5) pp.141-144. 2008.8

Three Dimensional Nano-Structure and Mechanical Properties of Bacterial Cellulose/Polymer Composite Materials Ozawa, Y., Kikuchi, T., Watanabe, M., and Yabuki, K. Progress of Composites 2008 in Asia and Austraria pp.231-234. 2008.9

Mechanical Behavior of Composite Materials System with Ultra Lightweight in Temperature Conditions Ozawa, Y., Kikuchi, T., Watanabe, M., and Yabuki, K. Progress of Composites 2008 in Asia and Austraria pp.391-394. 2008.9

Development of Composite Material System With Lightweight Ozawa, Y., Kikuchi, T., Watanabe, M., and Yabuki, K. Proceedings of The Asian Conference on Mechanics of Functional Materials and Structures (ACMFMS2008) pp.149-152. 2008.11

【学会発表】 温度環境下にある超軽量複合材料システムの力学的挙動 日本機械学会 M&M 2008材料力学カンファレンス 関立命館大学・びわこくさつキャンパス 2008.9

バクテリアセルロースを用いた焼結材の摺動特性について J-COM38-材料・構造の複合化と機能化に関するシンポジウム 関同志社大学今出川キャンパス寒梅館(京都市) 2008.3

ガラスバルーン強化複合材料の温度特性 J-COM38-材料・構造の複合化と機能化に関するシンポジウム 関同志社大学今出川キャンパス寒梅館(京都市) 2008.3

シラスバルーン複合材料の三次元有限要素解析 J-COM38-材料・構造の複合化と機能化に関するシンポジウム 関同志社大学今出川キャンパス寒梅館(京都市) 2008.3

バクテリアセルロース三次元強化構造の成形改良 J-COM38-材料・構造の複合化と機能化に関するシンポジウム 関同志社大学今出川キャンパス寒梅館(京都市) 2008.3

プラスチック薄膜シートの高精度打抜きに関する研究 J-COM38-材料・構造の複合化と機能化に関するシンポジウム 関同志社大学今出川キャンパス寒梅館(京都市) 2008.3

【特許】 “摺動部材の製造方法” 小沢喜仁・高橋隆行・菊地時雄 特願2008-200617

【その他】 Development of Advanced Composites from Natural Materials and Their Application to a Robot-Hand System, Invited Lecture Y. Ozawa and T. Kikuchi The 3rd Int. Symposium on Advanced Mechatronics Engineering (ISAM) in CNU Conference Hall, Changwon-city, Korea 8-9 2009.1

田中 明

【論文】 Interpolation of the subjective score of visually-induced motion sickness by using physiological parameters. Tanaka A, Sugita N, Yoshizawa M, Abe M, Yambe T. Conf Proc IEEE Eng Med Biol Soc.2008 2008 ; 2008 : 4595-6. 2008.8

A method for evaluating effects of visually-induced motion sickness using ICA for photoplethysmography. Abe M, Yoshizawa M, Sugita N, Tanaka A, Chiba S, Yambe T, Nitta S. Conf Proc IEEE Eng Med Biol Soc.2008 2008 : 4591-4. 2008.8

Comparison of maximum cross-correlation coefficient between blood pressure and heart rate with traditional index associated with baroreflex sensitivity. Sugita N, Yoshizawa M, Abe M, Tanaka A, Chiba S, Yambe T, Nitta S. Conf Proc IEEE Eng Med Biol Soc.2008 2008 : 2574-7. 2008.8

High frequency ultrasound characterization of artificial skin. Iwamoto T, Saijo Y, Hozumi N, Kobayashi K, Okada N, Tanaka A, Yoshizawa M. Conf Proc IEEE Eng Med Biol Soc.2008 2008 : 2185-8. 2008.8

Preliminary study on the estimation of Emax using single-beat methods during assistance with rotary blood pumps. Sugai TK, Tanaka A, Yoshizawa M, Shiraishi Y, Baba A, Yambe T, Nitta S. Conf Proc IEEE Eng Med Biol Soc.2008 2008 : 973-6. 2008.8

Sensorless control for a sophisticated artificial myocardial contraction by using shape memory alloy fibre. Shiraishi Y, Yambe T, Saijo Y, Sato F, Tanaka A, Yoshizawa M, Sugai TK, Sakata R, Luo Y, Park Y, Uematsu M, Umezu M, Fujimoto T, Masumoto N, Liu H, Baba A, Konno S, Nitta S, Imachi K, Tabayashi K, Sasada H, Homma D. Conf Proc IEEE Eng Med Biol Soc.2008 2008 : 711-4. 2008.8

High frequency ultrasound imaging of surface and subsurface structures of fingerprints. Saijo Y, Kobayashi K, Okada N, Hozumi N, Hagiwara Y, Tanaka A, Iwamoto T. Conf Proc IEEE Eng Med Biol Soc.2008 2008 : 2173-6. 2008.8

【学会発表】 Evaluation of Pump Control Based on Dynamic Property on Native Heart 54th Annual Conference ASAI0 ㊦San Fransisco 2008.6

Estimation of Cardiac Function with VAD Based on Estimated Flow 54th Annual Conference ASAI0 ㊦San Fransisco 2008.6

Sensorless Control for a Sophisticated Artificial Myocardial Contraction by using Shape Memory Alloy Fibre 30th Annual International IEEE EMBS Conference ㊦Vancouver 2008.8

Preliminary Study on the Estimation of Emax using Single-Beat Methods during Assistance with Rotary Blood Pumps 30th Annual International IEEE EMBS Conference ㊦Vancouver 2008.8

High Frequency Ultrasound Imaging of Surface and Subsurface Structures of Fingerprints 30th Annual International IEEE EMBS Conference ㊦Vancouver 2008.8

High Frequency Ultrasound Characterization of Artificial Skin 30th Annual International IEEE EMBS Conference ㊦Vancouver 2008.8

A Method for Evaluating Effects of Visually-Induced Motion Sickness Using ICA for Photoplethysmography 30th Annual International IEEE EMBS Conference ㊦Vancouver 2008.8

Interpolation of the subjective score of visually-induced motion sickness by using physiological parameters 30th Annual International IEEE EMBS Conference ㊦Vancouver 2008.8

Single-beat methods for assessment of the ventricular contractility with rotary pumps 16th Congress of the ISRBP ㊦Houston 2008.10

補助人工心臓における状態推定と制御 第47回日本生体医工学会大会 ㊦神戸 2008.5

3次元超音波顕微鏡の開発による再生皮膚組織モデルの自動診断 第47回日本

生体医工学会大会 函神戸 2008.5
 時間的推移から見た生理評価値と?観評
 価値の関連性 第23回生体・生理工学
 シンポジウム 函名古屋 2008.9

福田 一彦

- 【著 書】** 時間生物学事典(発達期の時計),298-299. 単著(分担執筆) 朝倉書店
 精神疾患における睡眠障害の対応と治療(小児・学童期の睡眠障害),179-187. 単著(分担執筆) 中山書店
 基礎講座・睡眠改善学(睡眠と生体リズム),33-51. 単著(分担執筆) ゆまに書房
 睡眠学(情動と夢),261-263. 単著(分担執筆、編集) 朝倉書店
 睡眠学(睡眠と寿命),379-381. 単著(分担執筆、編集) 朝倉書店
 睡眠学(発達期の睡眠問題) 共著(分担執筆、編集) 朝倉書店
 現代心理学入門(意識の状態),76-94. 単著(分担執筆) 川島書店
- 【論 文】** Emergence of the circadian sleep-wake rhythm might depend on conception not on birth timing. Takaya,R.,Fukuda,K.,Uehara,H.,Kihara,H.& Ishihara,K. Sleep and Biological Rhythms 7: 59-65. 2009
- 【学会発表】** 保育園児の昼寝と夜間睡眠 昼寝を課されていない保育園児との比較 第26回日本生理心理学会 函沖縄 2008.7
 触り心地と事象関連電位—素材への自発的接触による検討 第26回日本生理心理学会 函沖縄 2008.7
 大学生におけるTV視聴スタイルと睡眠-覚醒パターン 第33回日本睡眠学会 函福島 2008.6
 保育園の昼寝は是か非か(2) 昼寝を課さない保育園での記録 第71回日本心理学会 函札幌 2008.9
 定年退職と精神健康(5)—目標と抑うつとの関連— 第71回日本心理学会 函札幌 2008.9
 触り心地の評価に素材の柔らかさが与える影響 第71回日本心理学会 函札幌 2008.9
 主観的触り心地と事象関連電位:物質の硬さの影響について 第38回日本臨床神経生理学会 函東京 2008.11
 働く人々のメンタルヘルスに関わる要因

について(4)—抑制要因としての具体的職場行動要因の探索— 第16回日本産業ストレス学会 函東京 2008.12

二見 亮弘

- 【論 文】** Application of local EMG-Driven Electrical Stimulation to paralytic shoulder muscle of the proximal dominant hemiplegics Kazunori Seki,Ryoko Futami,Kenji Sengoku,Yasunobu Handa Proc.13th Annual Conf.of the International FES Society in DVDROM 2008.9

物質・エネルギー学系

浅田 隆志

- 【論 文】** Variation of 4,5,6,7-Tetrachlorophthalide in Water after Aerial Application to Rice Cultivation Area Takako Maeda, Miho Iwashita,Tomiyuki Hori,Takashi Asada, Kikuo Oikawa,Kuniaki Kawata Bulletin of Environmental Contamination and Toxicology 80 (5)399-402 2008.5
 Decrease of 4,5,6,7-tetrachlorophthalide in paddy field soil after aerial application Miho Iwashita,Takako Maeda,Tomiyuki Hori,Takashi Asada,Kikuo Oikawa and Kuniaki Kawata Bulletin of Environmental Contamination and Toxicology 81 (4)383-386 2008.10
- 【調査報告】** 竹炭化物の機能性と環境分野への利用 単著 炭化物利用研究会報 7,24-28 2009.1
 廃棄物系バイオマスの炭化処理における効率的な水素製造法の確立 浅田隆志, 乾実紗希 共生のシステム 8,24-29 2009.3
- 【学会発表】** 蛍光X線分析法による土壌及び堆肥中金属の簡易分析とその評価 猪狩友梨・堀富之・笹崎裕美・浅田隆志・川田哲・川瀬晃・川田邦明・及川紀久雄 第69回分析化学討論会 函名古屋国際会議場 2008.5
 水田に空中散布されたフサライドの水系における濃度変動 前田多佳子・岩下美穂・堀富之・浅田隆志・及川紀久雄・川田邦明 第17回環境化学討論会 函神戸国際会議場 2008.6
 空中散布されたフサライドの水田土壌における減衰 岩下美穂・前田多佳子・堀富之・浅田隆志・及川紀久雄・川田邦明 第17回環境化学討論会 函神戸国際会議場 2008.6

Removal of Free Chlorine and Chloramine with Bamboo Charcoal — Influence of Carbonization Temperature and pH of Solution Takashi Asada, Masayuki Takano, Yuri Igari, Kuniaki Kawata, and Kikuo Oikawa Carbon 2008 ㊦ホテルメトロポリタン長野 2008.7

Removal of Zinc from Aqueous solution by Adsorption onto Carbonaceous Materials Activated Carbon Using Oyster Shell. Takashi Asada, Masayuki Takano, Yuri Igari, Kuniaki Kawata, and Kikuo Oikawa Carbon 2008 ㊦ホテルメトロポリタン長野 2008.7

強磁力を有する多孔性炭素材料の開発 川田邦明・林広紀・鈴木和将・浅田隆志 化学工学会 第74年会 ㊦横浜国立大学 2008.3

強磁力を有する多孔性炭素材料の評価 川田邦明・西村洋輝・大野正貴・猪狩友梨・諸橋将雪・鈴木和将・浅田隆志 化学工学会 第74年会 ㊦横浜国立大学 2008.3

猪俣 慎二

【調査報告】 メシチレン中でのナトリウムシクロペンタジエニドとルテニウムクロロカロボニル二量体 $[Ru(CO)_3Cl_2]$ 2との反応と生成物の同定 小川澄子・久道望・村田由香里 共生のシステム 7巻 2009.3

【学会発表】 三鉄クラスター $Cp_2Fe_3S(S_2C_2(CO_2Me)_2)\{\mu_3-S_3C_2(H)(CO_2Me)_2\}$ の1電子酸化体の合成と性質 第58回錯体化学討論会 ㊦金沢 2008.9

大山 大

【論文】 Stereospecific formation of polypyridylruthenium(II) complexes incorporating an asymmetrical bidentate ligand: Influence of coligands Akio Asuma Tsugiko Takase Inorganic Chemistry Communications Vol. 11 2008.9

【学会発表】 キノニルターピリジンが配位したルテニウム錯体の合成とプロトン共役電子移動反応 第58回錯体化学討論会 ㊦金沢 2008.9

2-(2-ピリジル)-1,8-ナフチリジンを含む一連のルテニウムカルボニル錯体の合成と性質 第89日本化学会春季年会 ㊦船橋 2009.3

金澤 等

【論文】 Adsorption of Surfactant and Ammonium Ion to Chemically Modified Cellulose Fiber

大波哲夫 福島大学年報 4号 2008.12

超高分子量材料とその表面改質 単著 工業材料(日刊工業新聞社) Vol. 57, No. 1 2009.1

ポリオレフィンと木材・金属・アクリル樹脂の接着を実現する新しい接着技術 単著 プラスチックエージ(株)プラスチック・エージ Vol. 55, No. 3 2009.3

ポリエチレンとポリプロピレンの表面処理による塗装性の改良 単著 塗装工学(日本塗装技術協会) Vol. 44, No. 3 2009.3

【学会発表】 「N-カルボキシアミノ酸無水物の反応性の再考(26) 単分散ポリペプチドの製造及び固相重合の有用性」 単著 第57回高分子学会年次大会 ㊦横浜 2008.5

「繊維素材の化学的改質による水質浄化材料の設計」 単著 日本家政学会 ㊦東京 2008.5

「N-カルボキシアミノ酸無水物の反応性の再考(27) これまで不可能と考えられた単分散ポリペプチドの製造及び固相重合の可能性」 共著 繊維学会 ㊦東京 2008.6

「難加工性高分子の表面改質による吸水性、接着性、染色性の改良」 共著 繊維学会 ㊦東京 2008.6

「繊維素材の化学的改質による吸着材料の設計(2)」 共著 繊維学会 ㊦東京 2008.6

「繊維素材の化学的改質による吸着材料の設計(3)」 共著 繊維学会 ㊦東京 2008.6

「新規性のある研究をめざして; 不可能と言われた分子量一定ポリペプチド、及び、吸水性プラスチックの製造」 2008 被服材料部会夏期セミナー ㊦奈良 2008.8

"Availability of the Solid State Polymerization of amino acid NCAs as compared with the solution reaction" XXI Congress of the International Union of Crystallography (IUCR), 2008.8

「N-カルボキシアミノ酸無水物の反応性再考(28) 分子量一定のポリペプチドの製造」 単著 第53回日本家政学会東北・北海道支部研究発表会 ㊦弘前 2008.10

「N-カルボキシアミノ酸無水物の反応性の再考 (29) 固相重合でのみ生成する高分子量のポリペプチド」 単著
日本化学会有機結晶シンポジウム 関大阪 2008.11

"Improvement of adhesion, water-absorption and painting properties of polypropylene and ultra-high molecular weight polyethylene" 単著 KSDF The 20th Anniversary International Conference on Dyeing and Finishing 関大郎 (韓国) 2009.3

【その他】 超高分子量ポリエチレン及び他の高分子材料の接着、吸水、塗装性の改良 単著 イノベーションジャパン2008 関東京国際フォーラム 2008.9

佐藤 理夫

【論文】 バイオマスタウン構想書の策定意義と堆肥化の課題 武田栄輝・佐藤理夫 共生の科学 Vol.7 2009.3

【学会発表】 酸化セリウム系ガラス研磨材使用済スラリーの性状解析 化学工学会第40回秋季大会 関東北大学・仙台市 2008.9

エンジン直接供給のための廃食用油中の不純物に関する研究 化学工学会第40回秋季大会 関東北大学・仙台市 2008.9

鶏肉処理工場から排出される含油廃棄物の燃料化技術 化学工学会第40回秋季大会 関東北大学・仙台市 2008.9

ディーゼル発電機を用いた鶏肉処理工場廃棄物由来の油脂の特性評価 化学工学会第74年会 関横浜国立大学・横浜市 2009.3

ガラス用研磨材スラリー固形分の組成分析と沈降特性 化学工学会東日本合同学生発表会 関日本大学工学部・郡山市 2009.3

鶏肉処理工場から排出される含油廃棄物のディーゼル燃料化 第56回応用物理学関係連合講演会 関筑波大学・つくば市 2009.3

【特許】 ガラス研磨材の製造方法 佐藤理夫・伊藤光輝 特願2009-063497

島田 邦雄

【論文】 Research on a haptic sensor made using MCF conductive rubber Yaoyang ZHENG, Kunio SHIMADA and Yasasushi IDO Journal of Physics, Condensed Matter Vol.20, 204148 2008.5

Vibration properties of a coupled system of a magnetic fluid layer and a magnetic

rubber membrane Yasushi IDO, Tomoya YAMADA and Kunio SHIMADA International Journal of Applied Electromagnetics and Mechanics Vol.28, No.1-2, pp.129-134 2008.5

Study on a haptic sensor using MCF (magnetic compound fluid) electric conductive rubber Yaoyang ZHENG and Kunio SHIMADA Journal of Solid Mechanics and Materials Engineering Vol.2, No.6, pp.748-755 2008.6

強磁性弾性膜—磁性流体連成系の進行磁場に対する動特性 林浩一・井門康司・山田智哉・島田邦雄 日本実験力学学会誌 Vol.8, No.2, pp.147-152 2008.6

ハプティックロボットセンサのMCFゴムにおける伸張状態下での導電性に関する研究 島田邦雄・鄭耀陽 日本機械学会論文集 74巻, 744号, B編, pp.1748-1754 2008.8

A New Float-Polishing Technique with Large Clearance Utilizing Magnetic Compound Fluid Kunio SHIMADA, Yoshio MATUO, Keita YAMAMOTO and Yongbo WU International Journal of Abrasive Technology Vol.1, Nos.3/4, pp.302-315 2008.8

MCFゴムにおける伸張特性に関する基礎研究 島田邦雄・鄭耀陽 日本機械学会論文集 74巻, 747号, B編, pp.2287-2294 2008.12

MCFによる複合材料の等価回路モデル 近井学・神田和也・鄭耀陽・島田邦雄 日本実験力学学会誌 8巻, 4号, pp.371-376 2008.12

MCFを用いたアクリル樹脂の非接触式研磨に関する技術的検討 花見敬士・島田邦雄・鄭耀陽 日本実験力学学会誌 8巻, 4号, pp.384-391 2008.12

MCF触覚センサにおける改良型MCFゴムの開発 鄭耀陽・島田邦雄 日本実験力学学会誌 8巻, 4号, pp.392-395 2008.12

Basic study on usefulness of magnetic compound fluid(MCF) rubber as material for microwave heating Yaoyang ZHENG and Kunio SHIMADA Journal of Solid Mechanics and Materials Engineering Vol.3, No.2, pp.158-166 2009.2

ハプティックMCFゴムセンサにおける力学的特性と導電性 島田邦雄・鄭耀陽・橋本直幸 日本AEM学会誌

- Vol. 17, No. 1, pp. 126-131 2009.3 2008.5
 Fluid dynamic investigation of polishing the inner wall of a tube utilizing a magnetic compound fluid(MCF) Hitoshi NISHIDA, Kunio SHIMADA and Yasushi IDO Proceedings of the 7th JFPS International Symposium on Fluid Power ol. 3, pp.837-840 2008.9
- Characteristics and applications of amorphous compound fluid Kunio SHIMADA, Hitoshi NISHIDA, Eiichiro YUZE and Yaoyang ZHENG Proceedings of the 7th JFPS International Symposium on Fluid Power Vol.2 pp.555-560 2008.9
- 【調査報告】** 機能性流体力学 (7) 島田邦雄
 機械の研究 Vol. 60, No. 4, 2008, pp. 489-494 2008.4
- 機能性流体力学 (8) 島田邦雄
 機械の研究 Vol. 60, No. 5, 2008, pp. 591-596 2008.5
- 機能性流体力学 (9) 島田邦雄
 機械の研究 Vol. 60, No. 6, 2008, pp. 674-678 2008.6
- 機能性流体力学 (10) 島田邦雄
 機械の研究 Vol. 60, No. 7, 2008, pp. 799-801 2008.7
- 機能性流体力学 (11) 島田邦雄
 機械の研究 Vol. 60, No. 8, 2008, pp. 895-901 2008.8
- 機能性流体力学 (12) 島田邦雄
 機械の研究 Vol. 60, No. 9, 2008, pp. 974-978 2008.9
- 機能性流体力学 (13) 島田邦雄
 機械の研究 Vol. 60, No. 10, 2008, pp. 1091-1099 2008.10
- 機能性流体力学 (14) 島田邦雄
 機械の研究 Vol. 60, No. 11, 2008, pp. 1173-1178 2008.11
- 機能性流体力学 (15) 島田邦雄
 機械の研究 Vol. 60, No. 12, 2008, pp. 1257-1266 2008.12
- 機能性流体力学 (16) 島田邦雄
 機械の研究 Vol. 61, No. 2, 2009, pp. 272-278 2009.2
- 機能性流体力学 (17) 島田邦雄
 機械の研究 Vol. 61, No. 3, 2009, pp. 360-366 2009.3
- 磁気混合流体 (MCF) の微細加工技術への応用 島田邦雄 砥粒加工学会誌 Vol. 52, No. 5, 2008, pp. 24-27
- 磁界制御による複雑形状を有するマイクロ管内面の次世代型超精密研磨装置の開発研究 西田均・島田邦雄 平成18年度～平成19年度科学研究費補助金(基盤研究(C))研究成果報告書 2008.6
- 【学会発表】** MCFをゴムに混合した複合材料に関する応用展開 第5回MCFコンソーシアム 圏東京 2008.4
- ハプティックMCFゴムセンサにおける力学的特性と導電特性 第20回電磁気力関連のダイナミックスシンポジウム 圏別府 2008.5
- MCF研磨技術 日本実験力学会2008年度年次講演会 圏札幌 2008.6～7
- MCFハプティックセンサゴムの開発 日本実験力学会2008年度年次講演会 圏札幌 2008.6～7
- MCFを用いたアクリス樹脂の表面処理 日本実験力学会2008年度年次講演会 圏札幌 2008.6～7
- 伸張状態下のMCFゴムの導電特性 日本機械学会2008年度年次大会 圏横浜 2008.8
- MCF触覚センサーにおける伸張特性 D&D Conference 圏横浜 2008.9
- 高感度のMCFハプティックゴムの開発 日本流体力学会年会2008 圏神戸 2008.9
- Fluid dynamic investigation of polishing the inner wall of a tube utilizing a magnetic compound fluid (MCF) the 7th JFPS International Symposium on Fluid Power 圏富山 2008.9
- Characteristics and applications of amorphous compound fluid the 7th JFPS International Symposium on Fluid Power 圏富山 2008.9
- MCF導電性ゴムの引張特性に関する研究 M&M 2008 材料力学カンファレンス 圏滋賀 2008.9
- MCFゴムと市販の感圧導電ゴムの比較 M&M 2008 材料力学カンファレンス 圏滋賀 2008.9
- The effect of fine particles on metal surface in MCF(magnetic compound fluid) polishing the 3rd JSME/ASME International Conference on Material and Processing 圏イリノイ(アメリカ) 2008.10

Basic study on usefulness of MCF (magnetic compound fluid) rubber as material for microwave heating the 3rd JSME/ASME International Conference on Material and Processing ㊦イリノイ (アメリカ) 2008.10

Research on conductivity of a haptic sensor, (made using MCF conductive rubber) especially the sensor under extended condition International Conference on Experimental Mechanics 2008 ㊦中国 2008.11

磁気混合流体 (MCF) を利用した研磨技術の開発研究 第7回生産加工・工作機械部門講演会 ㊦岐阜 2008.11

【特 許】 粒子分散型混合機能性流体及びそれを用いた加工法 島田邦雄・赤上陽一 特許第4141634

立体カム機構 高橋隆行・島田邦雄・小沢喜仁・福田一彦・Zheng Yaoyang・Jeong Song Hee 特許出願2007-144504

【その他】 磁場に反応する新しい機能性流体を用いたフロートポリングの研究 日本実験力学学会技術賞 2008.6

杉森 大助

【著 書】 最新 環境浄化のための微生物学 共著 講談社サイエンティフィク

【論 文】 Dible oil degradation in wastewater by using a coculture of *Rhodotorula pacifica* ST3411 and *Cryptococcus laurentii* ST 3412 *Appl.Microbiol.Biotechnol.* 82:1 2009.1

【調査報告】 高濃度アンモニア廃ガスのバイオ処理技術の開発 自然共生・再生研究：共生のシステム 7 2009.3

【学会発表】 糖廃液を原料とした光水素生産システムに関する研究 天尾豊・牧裕子・杉森大助 第4回バイオマス科学会議 ㊦北見工業大学, 北見市 2009.1

桃グルコシルセラミドの構造解析とその含量測定 杉森大助・高瀬つぎ子・高桑直也子・高桑直也 第7回脂質工学研究部会 ㊦大阪市立工業研究所 2009.3

濃度アンモニアを除去する微生物の探索 永山浩史・野尻健太・杉森大助・高橋祐一・小座野貴弘 日本農芸化学会2009年度大会 ㊦マリンメッセ福岡 2009.3

桃に含まれるセラミドの含量測定と構造解析 杉森大助・高瀬つぎ子・高桑直也 日本農芸化学会2009年度大会

㊦マリンメッセ福岡 2009.3

Cloning and expression of the gene encoding a sphingomyelinase C from *Streptomyces griseocarneus* NBRC13471 Daisuke Sugimori, Yu Tomita, Chiaki Ogino, and Xiaoli Liu 10th Korea-Japan-China Joint Symposium on Enzyme Engineering Haeundae Centum ㊦Hotel, Busan, Korea 2008.11

【特 許】 ルコシルセラミド画分およびこれを含む加工品 杉森大助・鈴木英孝 2008-297664

高貝 慶隆

【学会発表】 金属イオンを指標とする酵素の定量法～銅フタロシアニン結合型セルロースを用いるセルラーゼのICP分析～ 第69回分析化学討論会 ㊦名古屋国際会議場 2008.5

食肉残留検査を目的とする動物用医薬品イベルメクチンのGC-MS分析法の開発 第2回 みちのく分析科学シンポジウム ㊦東北大学 2008.7

ジチオール配位座を有するセルロース誘導体の合成と強酸性条件下における水銀イオンの吸着特性 第2回 みちのく分析科学シンポジウム ㊦東北大学 2008.7

アクリル系ポリマー粒子への蛍光色素の吸着現象を利用したオプティカルガスセンサー素子への展開 第2回 みちのく分析科学シンポジウム ㊦東北大学 2008.7

銅フタロシアニン結合型セルロースの分解反応に基づくセルラーゼ酵素のICP発光分光分析 第2回 みちのく分析科学シンポジウム ㊦東北大学 2008.7

【特 許】 セルラーゼ測定試薬及びセルラーゼの測定方法 高貝慶隆・小玉賢志 特願2008-261575

塩基性ガスセンサ 高貝慶隆・佛願道男・野尻裕貴 特願2008-233944

排水中の重金属イオンの吸着除去方法 高貝慶隆・近藤雅彦・阿部仁・望月弘昭 特願2008-186970

生命・環境学系

阿子島 功

【論 文】 Survey report of the damage caused by the April 2007 Solomon Islands tsunami in the village of Siboro, Suva, and

Pailonge, Ghizo Island --- Investigating the effect of trees in reducing tsunami damage Sakamoto T., Kobayashi, N., Okada, M., Inoue S., Hiraishi T., Harada, K., Ezaki T., Akojima I., Hayashida M., and Nakashima Y. 日本海岸林学会誌 7-2, p. 47-54 2008.6

Endurance of the Casuarina coastal forest in southern Sri Lanka against the Indian Ocean Tsunami Hayashida M., Sakamoto T., Okada M., Inoue S., Yanagihara A., Akojima I., Nakashima Y. 日本海岸林学会誌 7-3, p. 1-5 2009.2

The damage caused by the 2004 Indian Ocean tsunami and the mitigating effects of the mangrove forest against the tsunami--A case study of Medilla, Southern Sri Lanka Okada M., Sakamoto T., Hayashida M., Inoue S., Yanagihara A., Akojima I., Nakashima Y. 日本海岸林学会誌 7-3, p. 7-13 2009.2

京都洛西山田浄住寺の境内絵図の現地比定について 松尾剛次・阿子島功 山形大学歴史・地理・人類学論集 10, p. 1-10 2009.3

【学会発表】 廃棄物処理と地形学 単著 東北地理学会2008年春季学術大会シンポジウム「地理学の社会貢献」(オーガナイザー:阿子島功・阿部隆) 関宮城大学 2008.5

ペルー、ナスカ台地の過去と現在の地形変化作用. 地球惑星科学連合2008年大会 関千葉市 幕張メッセ 2008.5

山西・内蒙古地域の農牧境界地域の漢代遺跡分布と対応させる地形分類図 単著 日本地理学会・東北地理学会合同2008年秋季大会 関岩手県盛岡市 岩手大学 2008.10

スリランカ南部におけるインド洋大津波でのマングローブ林の効果についてーMedilla地区を事例としてー 日本海岸林学会岩手大会(同講演集, p.1-2) 関岩手県陸前高田市 2008.11

スリランカ南部海岸の津波ハザードマップー2004.12.26インド洋大津波被害調査から 日本地理学会2009年春季大会 関八王子市 帝京大学 2009.3

【その他】 松川扇状地と米沢城と城下町 単著 「土木遺産シンポジウム2008in置賜」資料集(分委会1)直江兼統のまちづくりと土木遺産(同実行委員会) p.6-9 (同CD-ROM版 p.10-13) 2008.11

市井 和仁

【論文】 Assessing the representativeness of the Ameriflux network using MODIS and GOES data Yang F., Zhu A.X., White M.A., Hashimoto H., Nemani R.R. Journal of Geophysical Research 113, G04036, doi: 10.1029/2007JG000627 2008.12

Multiple site tower flux and remote sensing comparisons of tropical forest dynamics in monsoon Asia Huete A.R., Restrepo-Coupe N., Ratana P., Didan K., Saleska S.R., Panuthai S., Gamo M. Agricultural and Forest Meteorology 148, 748-760 2008.5

【調査報告】 Workshop Summary: CarboEastAsia Workshop 2009: Toward integration of field observations, remote sensing, and modeling. Saigusa N., Ogawa A. AsiaFlux Newsletter 28, 1-3 2009.3

【学会発表】 日本における陸域炭素・水循環のモデル相互比較: Japan-MIP 関郡山 2009.3

Multi-model analysis of terrestrial water and carbon cycles in Japan: Japan-MIP CarboEastAsia Workshop 2009 関つくば 2009.2

Evaluation and improvements of a terrestrial ecosystem model included in an earth system model using flux observations. CarboEastAsia Workshop 2009 関つくば 2009.2

Interannual variations in vegetation activities detected by multiple satellite-based vegetation indices in Asia. CarboEastAsia Workshop 2009 関つくば 2009.2

Multi-model analysis of terrestrial water and carbon cycles in Japan: Japan-MIP. American Geophysical Union Fall Meeting 2008 関アメリカ 2008.12

Multi-model analysis of terrestrial water and carbon cycles in Japan: First results from Japan-MIP. AsiaFlux Meeting 2008 関韓国 2008.11

陸域生物圏モデリングにおける地上観測・衛星観測の複合利用 JaLTER/JapanFlux/JAMSTEC/JAXA 連携セミナー 関つくば 2008.10

衛星データを利用した陸域生物圏モデル向上への試み 日本気象学会2008年度春季大会 関横浜 2008.5

稲森 悠平

【著 書】 Guideline on the Management for Establishment of Eco-Sound Watershed Environment of Lakes and Marshes 共著
The Industrial Water Institute Co.,Ltd.

最新 環境浄化のための微生物学 共著
(株)講談社

【論 文】 Identification of the bacterial community involved in methane-dependent denitrification in activated sludge using DNA stable-isotope probing Toshifumi Osaka, Yoshitaka Ebie, Satoshi Tsuneda FEMS Microbiology Ecology 64(33) 2008

Recovery oriented phosphorus adsorption process in decentralized advanced Johkasou Y.Ebie,T.Kondo,N.Kadoya,M.Mouri, O.Maruyama,S.Noritake,K.Xu Water Science and Technology 57(12) 2008

A pH- and temperature-phased two-stage process for hydrogen and methane production from food waste Chun-Feng Chu, Yu-You Li, Kai-Qin Xu, Yoshitaka Ebie International Journal of Hydrogen Energy 33 2008

Microbial community of anammox bacteria immobilized in polyethylene glycol gel carrier Y.Date,K.Isaka,T.Sumino,S.Tsuneda Water Science & Technology 58(5) 2008

Seasonal effect on N₂O formation in nitrification in constructed wetlands Ryuhei Inamori,Yanhua Wang,Tomoko Yamamoto,Jixiang Zhang,Hainan Kong, Kaiqin Xu Chemosphere 73 2008

ディスポーザ対応浄化槽の LCCO 2 評価 山崎宏史・鈴木理恵・虻江美孝・西村修 日本水処理生物学会誌 44 (3) 2008

ディスポーザ排水の生物学的可溶可・資化反応特性 山崎宏史・鈴木理恵・虻江美孝・西村修 日本水処理生物学会誌 44 (3) 2008

A simulation model of nitrogen transformation in reed constructed wetlands Yanhua Wang,Jixiang Zhang,Hainan Kong,Kaiqin Xu,Ryuhei Inamori,Takashi Kondo Desalination 235 2009

豚舎排水を処理する回分式活性汚泥法における N₂O の発生特性 西村修・増田周平・五ノ井浩二・原田茂樹・水落元之 日本水処理生物学会誌 45 (1) 2009

ディスポーザ排水導入が嫌気・好気循環方式生活排水処理システムに及ぼす影響

山崎宏史・鈴木理恵・井上廣輝・虻江美孝・西村修 下水道協会誌論文集 46 (559) 2009

【調査報告】 有機性排水処理で働く微小動物の分離法 稲森隆平・孔海南 食品工場長 (132) 2008

有機性排水処理で働く細菌の培養・保存法 稲森隆平・孔海南 食品工場長 (133) 2008

有機性排水処理で働く微小動物の培養・保存法 稲森隆平・孔海南 食品工場長 (134) 2008

液状廃棄物処理における温暖化対策 虻江美孝・徐開欽・山崎宏史・西村修 水 50-9 (719) 2008

食品工場排水の環境低負荷資源循環型高度処理技術 徐開欽・虻江美孝・稲森隆平 ジャパンフードサイエンス 47 (6) 2008

水処理プロセスにおけるリン資源の除去・廃棄から回収・資源化へのパラダイムシフト 虻江美孝・近藤貴志・徐開欽・常田聡・杉浦則夫・丸山治 ケミカルエンジニアリング 53 (7) 2008

有機性排水処理で働く微生物の透過電子顕微鏡による形態観察 稲森隆平・孔海南 食品工場長 (135) 2008

生態工学技法としての沈水植物再生による湖沼の水環境回復と派生バイオマスリサイクル統合システム開発(環境技術開発等推進費平成19年度採択研究開発課題の紹介(3)) 国際環境研究協会ニュース (145) 2008

有機性排水処理で働く微生物の光学顕微鏡による形態観察 稲森隆平・孔海南 食品工場長 (136) 2008

生活排水対策としての浄化槽の技術開発の課題と展望 らびど (28) 2008

有機性排水処理で働く微生物の遺伝特性 稲森隆平・孔海南 食品工場長 (137) 2008

有機性排水処理の機能評価のためのバイオセンサーの活用 稲森隆平・孔海南 食品工場長 (138) 2008

バイオ・エコシステムを活用した環境再生国際戦略 稲森隆平・孔海南 食品工場長 (139) 2008

バイオエコシステムを活用した環境再生技法の現状と将来 稲森隆平・徐開欽・許春蓮 畜産の研究 63(2) 2009

- 長江流域における水環境の現状と課題
徐開欽・虻江美孝 環境技術 38 (5)
2009
- 【学会発表】** H₂ production from high-solid food waste
using anaerobic mixed microflora under
thermophilic condition 17th World Hy-
drogen Energy Conference(WHEC2008)
⑧Brisbane 2008.6
- Conservation and Reclamation Strategies
for Water Environment in China based
on Japan's Measures using BIO-ECO
SYSTEM 2008 Advanced Forum on
Water Environments protection and Pol-
lution Control for Lake Fuxian ⑧Yun-
nan 2008.9
- バイオ・エコ技術を活用した流域水環境
再生の国際展開 ―中国における事例研
究を中心に― 第11回日本水環境学会
シンポジウム ⑧秋田 2008.9
- 環境再生のための分散型高度処理システ
ムのあり方 第11回日本水環境学会シ
ンポジウム ⑧秋田 2008.9
- バイオエコ分散型処理システムによる環
境再生 第11回日本水環境学会シンポ
ジウム ⑧秋田 2008.9
- On-site gray water treatment by use of
slanted soil chamber system 6th inter-
national symposium on sustainable sani-
tation ⑧Changchun 2008.9
- Status and prospective of water environ-
ment restoration using bio-eco engineer-
ing Proceedings of the 8th Symposium
on TEMM-agreed Freshwater Pollution
prevention Project ⑧Incheon 2008.10
- Development of phosphorus removal and
recovery system by adsorption and
desorption process for decentralized ad-
vanced Johkasou Proceedings of the
8th Symposium on TEMM-agreed Fresh-
water Pollution prevention Project
⑧Incheon 2008.10
- 生態工学を活用した水域の環境改善
日本水処理生物学会第45回大会 ⑧秋田
2008.11
- 水素・メタン二段発酵システムにおける
循環の処理性能に及ぼす影響解析 日
本水処理生物学会第45回大会 ⑧秋田
2008.11
- 分散型生活雑排水処理システムとしての
傾斜土槽法の実証試験 日本水処理生
物学会第45回大会 ⑧秋田 2008.11
- 生活排水含有リンの緩溶解性固形凝集剤
導入排水処理法による除去特性と微小動
物に及ぼす影響解析 日本水処理生物
学会第45回大会 ⑧秋田 2008.11
- ディスポーザ対応浄化槽のCO₂排出量に
着目したLCA手法による評価 日本水
処理生物学会第45回大会 ⑧秋田
2008.11
- ディスポーザ対応浄化槽における固液分
離システム導入の処理特性評価 日本
水処理生物学会第45回大会 ⑧秋田
2008.11
- ディスポーザ対応浄化槽の処理性能と汚
泥特性評価 日本水処理生物学会第45
回大会 ⑧秋田 2008.11
- On-Site 型リン除去・回収・資源化シス
テムにおける最適化 日本水処理生物
学会第45回大会 ⑧秋田 2008.11
- フロート式水耕栽培浄化システムにおけ
る大型動物等の存在効果と水質特性の解
析 日本水処理生物学会第45回大会
⑧秋田 2008.11
- 生態工学技法としての沈水植物浄化にお
ける大型水生動物の効果解析に関する研
究 日本水処理生物学会第45回大会
⑧秋田 2008.11
- 生態工学技法としての沈水植物浄化シス
テムにおける二枚貝類等の機能解析
日本水処理生物学会第45回大会 ⑧秋田
2008.11
- 生態工学技法を導入した水田管理におけ
る効果解析 日本水処理生物学会第45
回大会 ⑧秋田 2008.11
- 水処理システムに出現する微小動物群集
構造の18rRNA 遺伝子を指標とした解析
日本水処理生物学会第45回大会 ⑧秋田
2008.11
- 植栽浄化システム内における水生植物根
圏の微生物群集構造解析 日本水処理
生物学会第45回大会 ⑧秋田 2008.11
- Development of Clean Energy Recovery
and Making Resources System from
Biomass 中国環境科学学会 ⑧
Guangzhou 2008.11
- 水素・メタン二段発酵による食品廃棄物
からのエネルギー回収技術の開発 第
19回廃棄物学会研究発表会 ⑧京都
2008.11
- Nutrient removal and phosphorus recov-
ery in the anaerobic/oxic/anoxic proc-
ess combined with sludge ozonation and
phosphorus adsorption The Eighth

China-Japan Symposium on Water Environment ㊦ Suzhou 2008.11

浮島による植物プランクトン増殖抑制機能に関する現場試験解析 第43回日本水環境学会年会 ㊦ 山口 2009.3

大型水生植物群落水の持つ Microcystis 増殖抑制効果の季節変動 第43回日本水環境学会年会 ㊦ 山口 2009.3

水耕栽培植物としてのクウシンサイとクレソンの浄化特性比較解析 第43回日本水環境学会年会 ㊦ 山口 2009.3

有機性排水からのメタン発酵・窒素除去システム効率化のための最適運転条件の解析 第43回日本水環境学会年会 ㊦ 山口 2009.3

ディスポーザ対応浄化槽における運転操作条件と処理水質・汚泥発生特性の関係解析 第43回日本水環境学会年会 ㊦ 山口 2009.3

沈水植物の回収・資源化・リサイクルを目途としたバイオマス利活用の可能性調査 第43回日本水環境学会年会 ㊦ 山口 2009.3

水稻の慣行および有機栽培法の水温変遷下における機能解析 第43回日本水環境学会年会 ㊦ 山口 2009.3

山ノ神沼の沈水植物群落の再生過程における水質およびプランクトンの変動 第43回日本水環境学会年会 ㊦ 山口 2009.3

沈水植物植栽システムにおける大型水生動物共生下の水温変遷と浄化機能解析 第43回日本水環境学会年会 ㊦ 山口 2009.3

ディスポーザ対応中規模浄化槽における運転操作条件と窒素除去特性の関係解析 第43回日本水環境学会年会 ㊦ 山口 2009.3

高度処理浄化槽としての緩溶解性固形リン凝集剤添加システムにおける浄化特性と微小動物に及ぼす水温変遷の影響解析 第43回日本水環境学会年会 ㊦ 山口 2009.3

分散型生活雑排水処理システムとしての傾斜土槽法の適用 第43回日本水環境学会年会 ㊦ 山口 2009.3

沈水植物浄化システムにおける水生動物貝類の機能解析 第43回日本水環境学会年会 ㊦ 山口 2009.3

沈水植物の緑肥・堆肥化と花き類への生育効果に関する検討 第43回日本水環

境学会年会 ㊦ 山口 2009.3

沈水植物による窒素、リン除去を目的とした刈取り方法の実験的検討 第43回日本水環境学会年会 ㊦ 山口 2009.3

沈水植物の人工気象室を用いた環境制御条件下における生育特性の解析 第43回日本水環境学会年会 ㊦ 山口 2009.3

鉄電解法導入高度処理浄化槽における資源回収システムの開発 第43回日本水環境学会年会 ㊦ 山口 2009.3

食品廃棄物からの高効率バイオガス回収のための連続水素・メタン二段発酵における内部汚泥循環効果解析 第43回日本水環境学会年会 ㊦ 山口 2009.3

川越 清樹

- 【論文】 将来気候モデルを用いた土砂崩壊リスク評価 風間聡・沢本正樹 地球環境研究論文集 16 2008.8
- Slope hazard risk evaluation due to rainfall condition in future So Kazama, Masaki Sawamoto Proc. 16th congress the APD/IAHR III 2008.10
- 気候変動による主要河川の水質の影響評価 菊地裕・風間聡・滝沢智 環境工学論文集 45 2008.11
- Evaluating the cost of flood damage based on changes in extreme rainfall in Japan So Kazama, Atymu Sato Sustainability Science 4 2008.12
- 数値気候モデルを用いた土砂生産量予測 秋本嗣美・風間聡 水工学論文集 53 2009.3
- 土砂崩壊リスク評価に対する気候モデルの適用 風間聡・脇岡靖明・高橋潔 水工学論文集 53 2009.3
- 気候モデルを利用した日本列島洪水リスク評価 佐藤歩・風間聡・森杉壽芳 水工学論文集 53 2009.3
- 【調査報告】 地球環境研究総合推進費戦略的研究プロジェクト「温暖化影響総合予測プロジェクト」成果発表について～地球温暖化「日本への影響」—長期的な気候安定化レベルと影響リスク評価— 温暖化影響評価プロジェクトチーム 環境省 戦略的研究開発プロジェクト 報告書 2008.5
- 【学会発表】 土砂崩壊に対する気候変動の影響評価 水文・水資源学会 ㊦ 東京大学 2008.8
- 気候変動による河川水質の影響評価 土木学会全国大会 ㊦ 東北大学 2008.9

Slope failure risk evaluation model due to climate change Hydro-change2008
 図京都ガーデンパレス 2008.10

Slope hazard risk evaluation due to rainfall condition in future APD/IAHR
 図河海大学(南京) 2008.10

数値気候モデルによる融雪の推定と土砂災害への影響評価 土木学会東北支部
 図東北学院大学 2009.3

木村 吉幸

【論 文】 野生ニホンザル (*Macaca fuscata*) ・メスのグルーミング行動 竹中瞳・伊沢絃生 ANIMATA No.7 2008.9

野生ニホンザル (*Macaca fuscata*) ・群れの生活におけるメスの行動特性 竹中瞳・伊沢絃生 ANIMATA No.7 2008.9

福島県木幡川周辺におけるアメリカミンク 岡田牧子 ANIMATA No.7 2008.9

黒沢 高秀

【論 文】 Chromosome numbers and karyomorphology of three species of the genus *Euphorbia* L. (Euphorbiaceae) in the Sikkim Himalaya. Ikeda, H., Kurosawa, T. & Ohba, H. Journal of Japanese Botany 83 2008.10

ミチノクホタルイ (カヤツリグサ科) の南限産地およびミヤマホタルイからの識別形質 早坂英介・細島尚子・黒沢高秀 植物研究雑誌 83 2008.10

富栄養化した都市域の池沼における水生植物の水質浄化機能に関する検討 長林久夫・馬場浩太・黒沢高秀・佐川演司 水工学論文集 53 2009.2

【調査報告】 福島市小鳥の森の植物相と植物多様性保全の観点からの保全策の提言 黒沢高秀・武田克彦・猪狩資子・高原豊・高原郁子・渡辺苑子・長渡真弓 福島大学地域創造 20 2009.2

南湖の植物Ⅲ 福島大学・県南建設事務所共同研究「南湖公園の水循環系健全化・生物多様性復元のための基礎研究」報告書 2009.3

猪苗代湖の植物の過去と現在～文献調査、標本調査、現地調査から見えてきた湖の変化～ 黒沢高秀・野沢沙樹・高瀬智恵子・笹原(小林)星 清らかな湖、美しい猪苗代湖の秘密を探る水環境研究誌 2008.6

植物資料収集とデータベース化から見え

てきた福島県内の水域生態系の変遷(4) 白河市南湖の水生・湿地生植物 黒沢高秀・中野晋太・藤田正明・古川雄二郎・岡千照・伊藤将太 福島大学理工学群共生システム理工学類共生のシステム 7 2009.3

地域の植物の保全の科学と実践 宮城の植物 33 2008.6

特集にあたって 黒沢高秀・難波謙二 日本生態学会東北地区会報 68 2008.6

水辺の侵略的外来植物問題と駆除の試み 日本生態学会東北地区会報 68 2008.6

稲作と共にやってきた植物、畦や土手を彩る帰化植物たち 南相馬市博物館企画展示図録 田んぼのいきもの・たからもの 29 2008.10

小山 純正

【著 書】 睡眠学 共著 朝倉書店

【論 文】 Penile erection and micturition events triggered by electrical stimulation of the mesopontine tegmental area Toledo Salas JC, Iwasaki H, Jodo E, Schmidt MH, Kawachi A, Miki T, Kayama Y, Otsuki M, Koyama Y. American Journal of Physiology. 292 2008

The septal area, site for the central regulation of penile erection during waking and REM sleep in rats: a stimulation study Gulia KK, Jodo E, Kawachi A, Miki T, Kayama Y, Mallick HN, Koyama Y Neuroscience. 156 (4) 2008.10

睡眠発現の神経機構 小山純正・高橋和巳 日本臨床 66(増刊号2) 2008.4

運動機能から見た哺乳類の睡眠制御メカニズム 高草木薫・奥村利勝・小山純正 細胞工学 27(5): 448-455 2008 27(5) 2008.5

意識障害の基礎—覚醒の神経機構 小山純正・高橋和巳 Clinical Neuroscience 26(6) 2008.6

【学会発表】 マウスオレキシンニューロンの睡眠・覚醒時の活動 日本睡眠学会第33回定期学術集会 図郡山 2008.6

覚醒機構としてのヒスタミン 日本睡眠学会第33回定期学術集会 図郡山 2008.6

動物を使った睡眠研究について 第13回睡眠科学研究講座 図郡山 2008.6

視床下部における覚醒・歩行運動・血圧の調節 第30回日本神経科学大会 圏東京 2008.7

鍼刺激と睡眠・排尿 第4回日本鍼灸師会全国大会 教育講演, 仙台 圏仙台 2008.10

視床下部における筋緊張調節系について 第41回東北生理談話会 圏弘前 2008.10

脊髄反射における姿勢と運動の制御 特定領域研究(移動知)第4回シンポジウム 圏松島 2009.3

視床下部における筋緊張調節機構について 特定領域研究(移動知)第4回シンポジウム 圏松島 2009.3

鈴木 浩

【著 書】 格差是正と地方自治 共著 敬文堂

【論 文】 住生活基本法のポイントと問題点 生活協同組合研究 NO.391 2008.8

世界的金融・経済危機と住宅政策の行方 日本建築学会大会研究協議会資料 2008.8

福島県新長期総合計画『うつくしま21』から見る広域計画の課題 運輸と経済 第69巻2号 2009.2

自治体における地域居住政策の展開過程に関する研究 阿留多伎真人・中島明子・松本恭治・三宅醇・長谷川洋・眞嶋二郎 科学研究費補助研究・報告書 2009.3

【調査報告】 産業廃棄物最終処分場の立地規制方策等に資する周辺環境影響等に関する調査研究 柴崎直明・難波謙二・中井勝己 2009.3

会津若松市郊外住宅団地における既存住宅の改修・住替えの円滑化に関する調査研究報告書 菊地進・深田俊雄 2009.3

【学会発表】 住生活基本計画および地域住宅計画の策定過程 日本建築学会大会研究発表梗概集 圏仙台市 2008.8

千葉 養伍

【著 書】 食品と甘味料 共著 光琳

新しい食物学 改訂第2版 共著 南江堂

塘 忠顕

【論 文】 阿武隈川に侵入した外来種フロリダマミズヨコエビ *Crangonyx floridanus* Bousfield (端脚目: マミズヨコエビ科) ~その特徴と脅威~ 塘忠顕・斎藤広行・

遠藤絢香 日本生態学会東北地区会会報 (68), 36-40 2008.6

【調査報告】 阿武隈川水系摺上川ダム直下流域における底生動物相~2006年~2008年の調査結果の比較~ 単著 共生のシステム 7, 34-41 2009.3

福島県二本松市山ノ入川におけるモンカゲロウとトウヨウモンカゲロウの分布と生活し(カゲロウ目: モンカゲロウ科) 尾形泰裕・塘 忠顕 福島生物 (51), 17-30 2008.8

ふくしま県民の森及びその周辺地域における蝶類の記録(2006年9月~2008年5月) 塘忠顕・山口咲恵・遠藤真希 福島生物 (51), 31-39 2008.8

【学会発表】 マメハナアザミウマ *Megalurothrips distalis* (Karny) 雄の腹板刺毛の微細構造(総翅目: 穿孔亜目) 日本節足動物発生学会第44回大会 圏信州大学 2008.5

【その他】 フォレストパークの昆虫相~ふくしま県民の森の昆虫相解明を目指して~ 塘忠顕・山口咲恵・嘉納裕輔・遠藤真希・吉澤 領 第2回ふくしま生き物調査発表会 圏ふくしま県民の森フォレストパークあだたら 2008.12

阿武隈川水系摺上川ダム直下流域における底生動物相~2006年~2008年の調査結果の比較~ 単著 第4回自然共生再生プロジェクトワークショップ 圏ホテルサンルートプラザ福島 2009.3

長橋 良隆

【論 文】 福島県駒止峠湿原の形成過程と古環境の変遷 吉田明弘・長橋良隆・竹内貞子 第四紀研究 47巻2号 2008.4

大阪層群の朝代テフラ層と新潟地域のTzw テフラ層の対比 黒川勝己・長橋良隆・吉川周作・里口保文 第四紀研究 47巻2号 2008.4

長野県野尻湖底ボーリング(NJ88)コア試料の編年の再構築とテフラ層の火山ガラス化学組成 長橋良隆・石山愛子 野尻湖ナウマンゾウ博物館研究報告 17号 2009.3

【学会発表】 長野市, 高野層TKN-2007コアの層相と有機炭素(TOC)含有率変動 日本地質学会 圏秋田大学 2008.9

火山ガラスの化学組成によるアダカイト質テフラ層の同定と噴火時期 日本地質学会 圏秋田大学 2008.9

伊豆諸島新島・式根島火山のマグマ供給系の岩石学的研究 日本鉱物科学会

圏秋田大学 2008.9

Origin of a voluminous iron-enriched high-K rhyolite magma erupted in the North Japan Alps at 1.75 Ma: Evidence for upper crustal melting 日本鉱物科学会 圏秋田大学 2008.9

浅間火山 B, B', A 降下軽石中に含まれる石質岩片の成因 日本火山学会 圏岩手大学 2008.10

南部北上・広田累帯深成岩体の形成プロセス 日本火山学会 圏岩手大学 2008.10

更新統高野層 TKN-2004/2007 コアの対比と古気候変動の解析 日本第四紀学会 圏東京大学 2008.8

火山ガラスの化学組成に基づくボーリングコア間の対比—高野層 TKN2004 コアと TKN2007 コアの例 日本第四紀学会 圏東京大学 2008.8

常磐沖前弧堆積盆地の堆積物と地層構造—鮮新世温暖期から第四紀寒冷期への遷移の記録— 日本堆積学会 圏大阪工業大学 2009.3

永幡 幸司

【論 文】 新潟県中越地震で被災した児童による避難生活で体験した出来事の評価 永幡幸司・守山正樹・鈴木典夫・坂本恵・金子信也 厚生指標 55(4) 2008.4

How the problem of car horn noise was solved in Japan: A historical study toward soundscape design Koji Nagahata Proc. inter-noise 2008 2008.10

まちづくりの一環として導入された音の出る施設に対する住民の評価 —「棚倉・時の鐘」を事例に— 鹿俣美保・永幡幸司 サウンドスケープ 10 2008.12

What impact do acoustic environment problems have on the stress suffered by evacuees at temporary shelters? Koji Nagahata, Hideyuki Kanda, Tetsuhito Fukushima, Norio Suzuki, Megumi Sakamoto, Fuminori Tanba, Shin-ya Kaneko, Acoustic Science and Technology 30 (2) 2009.3

【学会発表】 応急仮設住宅における音環境の問題について：新潟県中越地震の場合 日本音響学会 圏福岡 2008.9

音環境の政治的正しさをめぐって 日本音響学会騒音・振動研究会 圏福島 2008.10

How the problem of car horn noise was

solved in Japan: A historical study toward soundscape design inter-noise 2008 圏上海 2008.10

中村 泰久

【論 文】 食連星の周期変化 \$O-C\$ 図に現れるある特徴の解釈について 中村泰久・加藤篤 福島大学人間発達文化学類論集第8号 pp.11-20 2008.12

学校理科における「月」の学習再考—月の「満ち欠けの仕組み」の学びについて— 中村泰久・加藤篤・佐藤満美子 福島大学総合教育研究センター紀要 第5号 pp.33-40 2008.7

「元素」及びその起源と分布をどう学んでいるか—学校「理科」教科書での扱いなど— 中村泰久・遠藤絢香・小瀧拓也・杉田一馬 福島大学総合教育研究センター紀要 第6号 pp.33-40 2009.1

【学会発表】 離心軌道を持つ連星系の光度変化と視線速度変化 日本天文学会2008年秋季年会 圏岡山市：岡山理科大学 2008.9

科学的理解に根ざした『環境』学習のために—地球温暖化資料集の試作— 日本理科教育学会第48回東北支部大会 圏秋田市：秋田大学 2008.11

食連星の光度変化等の解析実習機能付きソフトの試作 天文教育普及研究会2008年東北支部会 圏奥州市：奥州遊学館 2008.11

難波 謙二

【論 文】 Characterization of Herbaspirillum-and Limnobacter-related strains isolated from young volcanic deposits in Miyake-Jima Island, Japan. Lu, H., Fujimura, R., Sato, Y., Nanba, K., Kamijo, T. and Ohta, H. Microbes and Environment 23(1): 66-72

Active bacterial populations and grazing impact revealed by an in situ experiment in a shallow aquifer. Nagaosa, K., Maruyama, T., Welikala, N., Yamashita, Y., Saito, Y., and Kato, K., Fortin, D., Nanba, K., Miyasaka, I. and Fukunaga, S. Geomicrobiology Journal 25: 131-141

Atmospheric CO and hydrogen uptake and CO oxidizer phylogeny for Miyake-jima, Japan volcanic deposits. King, G. M., Weber, C. F., Nanba, K., Sato, Y. and Ohta, H. Microbes and Environments 23 (4): 299-305

Distribution of atmospheric methane oxidation and methanotrophic communities

on Hawaiian volcanic deposits and soils.
King, G. M. and Nanba, K. *Microbes
and Environments* 23(4) : 326-330

Biogeochemical profiles in deep sedi-
mentary rocks in an inland fore-arc ba-
sin, Central Japan. *Chemical Geology*
Suzuki, Y., Suko, T., Yoshioka, H., Taka-
hashi, M., Nanba, K., Tsunogai, U., Takeno,
N. and Ito, K. *Chemical Geology* 259:
107-119

【調査報告】 猪苗代湖の大腸菌群問題について 難
波謙二 みんなで守る美しい猪苗代湖
の水環境フォーラム pp25-28 2009.1

【学会発表】 Distribution, diversity and activity of
marine CO-oxidizing bacteria in a Sapelo
Island, GA saltmarsh, and isolation of
novel marine CO oxidizers. 108 Ameri-
can Society for Microbiology 108th Gen-
eral Meeting 図Boston 2008.6

横尾 善之

【著 書】 川の百科事典 共著 190の共著者(分
担執筆者)のうちの1人 丸善

【論 文】 Investigating the roles of climate season-
ality and landscape characteristics on
mean annual and monthly water balances
Yoshiyuki YOKOO, Murugesu SIVA-
PALAN, Taikan OKI *Journal of Hy-
drology* 357·3-4 255-269 2008.5

山地河川の流況曲線形状を説明するた
めの表層地質の分類法に関する検討 横
尾善之・沖大幹 土木学会水工学論文
集 53 463-468 2009.2

【学会発表】 栃木県足利市の難分解性有機物の排出量
および排出原単位の試算 水資源学会
2008年度研究発表会 図東京 2008.8

Representative elementary watershed
(REW) modeling approach: A history
and a new direction of water balance
modeling The 6th International Sym-
posium on Southeast Asian Water Envi-
ronment 図インドネシア, バンドン
2008.10

Estimating recalcitrant organic carbon
outflow from Ashikaga City, Japan the
Fourth Conference of the Asia Pacific
Association of Hydrology and Water Re-
sources 図中国, 北京
2008.11

渡良瀬川の TOC 負荷量と両毛地域の排
出原単位の試算 第36回土木学会関東
支部技術研究発表会 図千葉 2009.3

渡邊 明

【著 書】 ブルタニカ百科事典 共著 ブルタ
ニカ 2008.7

【論 文】 地球温暖化と気候変動 単著 月刊
養殖 NO.4 2008.4

猪苗代湖周辺の局地循環 単著 清
らかな湖, 美しい猪苗代湖の秘密を探る
水環境研究誌 52号 2008.6

福島県北部に出現するLine状降雪雲
単著 東北の雪と生活 Vol.23
2008.9

Global warming and climate change
単著 Farming Japan Vol.42-6
2008.11

2008年9月11日の気象観測結果について
単著 みんなで守る美しい猪苗代湖の
水環境フォーラム共生のシステム
2009.1

突風現象 単著 港湾荷役 Vol.54,
NO.1 2009.1

高精度降水量予測手法の開発 単著
共生のシステム Vol.7 2009.3

福島県内の雨水によるイオン沈着量分布
単著 共生のシステム Vol.7
2009.3

雨水採水器のフィルターに付着した微粒
子の形態と化学組成 長橋良隆・山内
ひかり 共生のシステム Vol.7 2009.3

2008年2月23日の突風災害 単著
東北地域災害科学研究 Vol.45 2009.3

Development of the prediction method
of the minimum temperature for frost
damage prevention 単著 Interna-
tional Symposium on Agricultural Mete-
orology 2009 2009.3

【学会発表】 福島県北部に出現するLine状降雪雲
日本雪水学会東北支部 図新庄 2008.5

地形による降水強化システム 日本気
象学会 図横浜 2008.5

福島県における高濃度オキシダント出現
の特徴 大気環境学会北海道東北地区
大会 図仙台 2008.11

トンネル内の二酸化窒素濃度分布,
大気環境学会北海道東北地区大会 図仙
台 2008.11

寒冷前線に伴うガストフロントによる突
風 日本気象学会メソ気象研究会
図福島 2008.11

- 寒冷前線に伴う強風発生メカニズム
日本気象学会 函仙台 2008.11
- 霜害監視システムの開発 日本農業気象学会 函館 2008.11
- 2008年2月23日の突風災害 日本自然災害学会東北支部講演会 函秋田 2009.1
- Development of the prediction method of the minimum temperature for frost damage prevention International Symposium on Agricultural Meteorology 2009 函郡山 2009.3
- 気象監視システムの開発 日本農業気象学会 函郡山 2009.3

渡辺 英綱

- 【論文】** 慢性腎臓病と危険因子重複および尿中8-OHdGとの関連性 渡辺英綱・重富秀一・加藤哲夫・渡辺毅 日腎会誌 日腎会誌 Vol50 No. (3) AbsNo, P-393, p383 2008
- 保健指導支援レベルにおける血中アディポネクチンに対する生活習慣因子 渡辺英綱・林晃・重富秀一 糖尿病 Vol. 51, Supplement 1, AbsNo, III-P-90, S-347 2008
- ストレス評価と肥満とくに内臓脂肪蓄積との関連性 渡辺英綱・元永千穂・原田健・櫻井和俊 日本内科学会雑誌 第97巻、臨時増刊号、AbsNo423, p235 2008
- 健康診断時に脂肪肝を指摘された症例の肝障害出現リスク 渡辺英綱・重富秀一・高住奈緒子・木幡孝清 第56回福島県農村医学会総会学術発表プログラム・抄録集 p12 2008
- メタボリックシンドローム形成要因としての生活習慣因子 渡辺英綱 第39回「医学研究助成」研究報告集 p33-35 2008
- 学生の血圧と家族歴および生活習慣との関連性 渡辺英綱・渡辺厚・酒井コウ・川上敦子 第46回全国大学保健管理研究会東北地方研究集会報告書 p15 2008
- 福島大学での麻疹対策—平成19年度福島大学休講以降の麻疹に関する調査結果より— 渡辺英綱・渡辺厚・川上敦子・酒井コウ 福島大学保健管理センター 紀要 第23号、p21-26 2008
- 大学における禁煙対策の阻害因子—敷地内全面禁煙を目指して— 渡辺英綱

福島大学保健管理センター 紀要 第23号、p32-35 2008

大学生の感冒罹患状況よりみる大学での新型インフルエンザ対策 渡辺英綱 福島大学保健管理センター 紀要 第23号、p43-50 2008

成人気道感染症診療の基本的考え方から見た大学生の感冒罹患状況と経過 渡辺英綱・渡辺厚・酒井コウ・川上敦子 CAMPUS HEALTH, 45 (3), p76 J-2-5 2008.1

【学会発表】 学生の血圧と家族歴および生活習慣との関連性 第46回全国大学保健管理研究会東北地方研究集会 函宮城県仙台国際センター 2008.7

健康診断時に脂肪肝を指摘された症例の肝障害出現リスク 第56回福島県農村医学会総会 函福島県、富岡町文化交流センター 2008.6

慢性腎臓病と危険因子重複および尿中8-OHdGとの関連性 第51回日本腎臓学会学術総会 函福岡国際会議場、福岡 2008.6

保健指導支援レベルにおける血中アディポネクチンに対する生活習慣因子 第51回日本糖尿病学会年次集会 函東京国際フォーラム、東京 2008.5

ストレス評価と肥満とくに内臓脂肪蓄積との関連性 第105回日本内科学会講演会 函東京国際フォーラム、東京 2008.4

成人気道感染症診療の基本的考え方から見た大学生の感冒罹患状況と経過 第46回全国大学保健管理研究会 函京都テルサ、京都 2008.10